



TENORI-ON

MANUAL

TNR-W/TNR-O

designed by Toshio Iwai & Yamaha

取扱説明書について

本機には以下の4つの取扱説明書が付属しています。

クイックガイド

本機を使用するまでの準備と、基本的な操作方法について説明しています。

マニュアル(本書)

本機の機能の詳細を説明しています。付属ソフトウェア「TENORI-ON User Voice Manager」の操作方法や、「音色リスト」、「MIDIインプリメンテーションチャート」、「困ったときは」なども記載されています。やりたいことを目次から検索したり、本機に表示されるメニュー項目を「しおり」から検索したりできます。

インストールガイド

付属ソフトウェア「TENORI-ON User Voice Manager」のインストール手順が記載されています。

安全上のご注意

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。本機をお使いになる前に、必ずよくお読みください。また、保証期間やアフターサービスの連絡先も記載しております。お読みになったあとも大切に保管しておいてください。

マニュアル(PDFファイル)の操作について

- ファイルの左側に表示されている「しおり」上で見たい項目をクリックすると、該当ページへ移動できます。(しおりが表示されていない場合は、左上の「しおり」タブをクリックするとしおりが表示されます。)
- 目次や本文中に書かれている参照ページ番号をクリックすると、該当ページへ移動できます。
- Adobe Readerの「編集」メニューから「検索」または「簡易検索」を選び、調べたいキーワードを入力することで、キーワードによる全文検索ができます。表示された検索結果をクリックすると、該当ページへ移動できます。

NOTE Adobe Readerのバージョンによって、メニューの名称や表示位置などが異なる場合があります。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。また、この取扱説明書に掲載されている画面やイラストは、TNR-Wのものであります。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態(電源スイッチが「STANDBY」の状態)でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

個々のLEDボタンにおいて、点灯時の色合いに多少のばらつきがある場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

TENORI-ON とは？ 4

レイヤーと演奏モード	4
レイヤーとブロック	5
音色	6
別の TENORI-ON やパソコンとの接続	7
ソングのレコーディングと再生	8
SD メモリーカードへのセーブとロード	9
演奏以外の機能 (インテリアモード / パワーセーブモード)	10
演奏モード	11
基本操作	11
Score (スコア) モード	14
Random (ランダム) モード	15
Draw (ドロー) モード	16
Bounce (バウンス) モード	17
Push (プッシュ) モード	18
Solo (ソロ) モード	19

パラメーター設定 20

ファンクションボタンによるパラメーター設定	21
[L1] Instrument (インストゥルメント)	22
[L2] Sound Length (サウンドレングス)	23
[L3] Octave (オクターブ)	24
[L4] Loop Point (ループポイント) : Score モードの場合	25
[L4] Rotation (ローテーション) : Random モードの場合	26
[L5] Loop Speed (ループスピード)	27
[R1] Layer No. (レイヤーナンバー)	28
[R2] Master Tempo (マスターテンポ)	29
[R3] Master Transpose (マスタートランスポーズ)	30
[R4] Volume (ボリューム)	31
[R5] Block No. (ブロックナンバー)	32

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 33

データの保存と初期化	36
■ Play menu (プレイメニュー)	39
1. Hardware Volume (ハードウェアボリューム)	40
2. Master Tempo (マスターテンポ)	40
3. Master Scale (マスタースケール)	41
4. Master Transpose (マスタートランスポーズ)	42
5. Master Loop Speed (マスター ループ スピード)	42
6. Master Loop Point (マスター ループ ポイント)	43
7. Reset Loop Timing (リセット ループ タイミング)	43
8. Mute (ミュート)	44
■ Layer menu (レイヤーメニュー)	45
1. Instrument (インストゥルメント)	46
2. Volume (ボリューム)	47
3. Loop Speed (ループスピード)	48
4. Sound Length (サウンドレングス)	49
5. Panpot (パンポット)	50
6. Animation (アニメーション)	50

■ Edit menu (エディットメニュー)	51
1. Copy this Block (コピー ディス ブロック)	52
2. Clear this Block (クリア ディス ブロック)	52
3. Copy this Layer (コピー ディス レイヤー)	53
4. Clear this Layer (クリア ディス レイヤー)	54
5. Clear All Blocks (クリア オール ブロック)	54
6. Reset All Blocks (リセット オール ブロック)	54
■ Preference menu (プリファレンスメニュー)	55
1. Quantize (クオンタイズ)	56
2. Push Sensitivity (プッシュセンシティビティ)	56
3. Master Tuning (マスターチューニング)	56
4. Local Control (ローカルコントロール)	57
5. Synchronize (シンクロナイズ)	57
6. Loop Indicator (ループインジケター)	57
■ File menu (ファイルメニュー)	58
1. Song (ソング)	60
2. All Blocks (オールブロック)	64
3. Current Block (カレントブロック)	68
4. Current Layer (カレントレイヤー)	72
5. All Settings (オールセッティング)	76
6. Samplings (サンプリング)	80
■ Effect menu (エフェクトメニュー)	89
1. Reverb Type (リバーブタイプ)	89
2. Reverb Param (リバーブパラメーター)	89
3. Chorus Type (コーラスタイプ)	90
4. Chorus Param (コーラスパラメーター)	90
■ Interior menu (インテリアメニュー)	91
1. Interior START (インテリアスタート)	91
2. Interior Type (インテリアタイプ)	92
3. Saver Type (セーバータイプ)	92
4. Saver Time (セーバータイム)	92
5. Time Signal ON/OFF (タイムシグナル オン / オフ)	93
6. Alarm ON/OFF (アラーム オン / オフ)	93
7. Set Alarm (セットアラーム)	93
8. SaveAs Time Signal (セーブ アズ タイムシグナル)	94
9. SaveAs Alarm (セーブ アズ アラーム)	94
10. Clock Adjust (クロックアジャスト)	95
■ System menu (システムメニュー)	96
1. SaveAs Default (セーブ アズ デフォルト)	96
2. SD Format (SD フォーマット)	97
3. Owner Name (オーナーネーム)	97
4. Version Check (バージョンチェック)	98
5. Factory Reset (ファクトリーリセット)	98
■ Recording menu (レコーディングメニュー)	99

資料 101

ディスプレイメッセージ一覧	101
困ったときは	103
MIDI データフォーマット	105
TENORI-ON MIDI 送受信イベント仕様	105
MIDI インプリメンテーションチャート	107
音色リスト	108
索引	111

TENORI-ONとは？

TENORI-ONは、操作子と表示器の機能を備えた256個のLEDボタンを操作し演奏する、新しい音楽インターフェースです。

16×16のマトリクス構成のパネルを感覚的に操作することで、初心者でもかんたんに演奏を楽しめます。また、このパネルにはTENORI-ONの演奏にシンクロしてアニメーション(光のパターン)が表示されます。

レイヤーと演奏モード

TENORI-ONには、LEDボタンの操作方法および発音/発光のしかたが異なる設定レイヤーが16層用意されています。

各レイヤーには、発音タイミング、音色、音程、テンポ、音量、ループ位置などの演奏情報を記録できます。

また、16あるレイヤーは図のように6種類の演奏モードに振り分けられています。発音ポイントの指定方法やシーケンサーの動作が異なるこれら6種類の演奏モードを使い分け、最大16レイヤーを同時に再生(演奏)させることで、個性豊かな表現ができます。

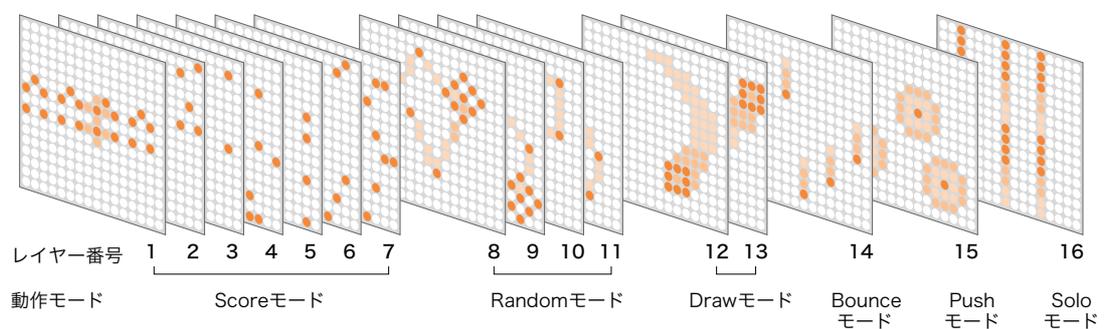
【参照】

* レイヤーを切り変える……………『Layer No.(レイヤーナンバー)』→28ページ

レイヤー番号	動作モード	動作	解説ページ
1～7	Score(スコア)モード	パネルの縦軸を音階、横軸を時間としたループ	14ページ
8～11	Random(ランダム)モード	設定順に発音ポイントが発音/発光するループ	15ページ
12～13	Draw(ドロー)モード	一定時間のLEDボタン操作を記憶し、繰り返す	16ページ
14	Bounce(バウンス)モード	ボールがバウンドするように上下で発音繰り返す	17ページ
15	Push(プッシュ)モード	LEDボタンを一定時間押すと、音が持続して鳴る	18ページ
16	Solo(ソロ)モード	LEDボタンを押している間、発音を繰り返す	19ページ

16層のレイヤーイメージ

LEDボタンパネルに演奏情報を設定

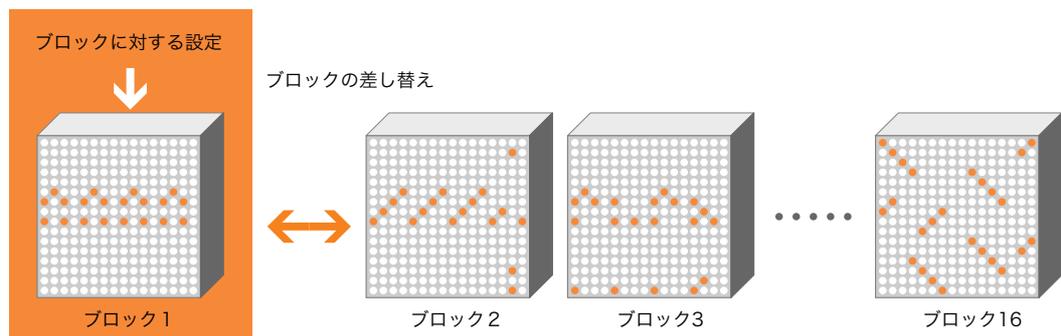


レイヤーとブロック

TENORI-ONはレイヤー1～16を1つのブロックとして扱います。このブロックを最大16ブロックまで持つことができ、これらのブロックを瞬時に切り替えることで、バリエーション豊かな演奏が可能になります。

レイヤーごとに設定する情報(音色、音程、発音ポイントなど)と、ブロックに対して設定する情報(マスターテンポ、マスタートランスポーズ、マスタースケールなど)は内部で分けて管理されています。このため、同じ曲で発音ポイントだけを変えた異なるパターンに瞬時に切り替えたりすることができます。ただし同じ番号のレイヤーは、全ブロックをとおして音色が共通ですので、ブロックを切り替えてもレイヤーの音色は変わりません。

レイヤーとブロックの関係



このようにブロックは内容がよく似た演奏情報を複数使う場合が多いため、ブロック間でのコピー機能が用意されています。

【参照】

- * ブロック→ブロックのコピー.....『Block No.(ブロックナンバー)』→32ページ、
『Copy this Block(コピー ディス ブロック)』→52ページ
- * レイヤー→レイヤーのコピー.....『Block No.(ブロックナンバー)』→32ページ、
『Copy this Layer(コピー ディス レイヤー)』→53ページ
- * ブロックを切り変える.....『Block No.(ブロックナンバー)』→32ページ

音色

TENORI-ON では演奏に使う楽器音を音色と呼びます。この楽器音を全部で256音色使うことができ、そのうち253音色は内蔵MIDI音源によるものです。ピアノ、ストリングスといった楽器音やドラム、パーカッション音はもちろん、効果音やTENORI-ON専用開発された音色など、バリエーション豊かな音色を内蔵しています。残りの3音色はユーザーがサンプリング音を登録して鳴らすためのユーザーボイス用として用意されています。パソコンなどで作成/ダウンロードしたサンプリング音を、TENORI-ONに付属のソフトウェア『TENORI-ON User Voice Manager』で専用ファイルに変換し、SDメモリーカード経由でTENORI-ON本体のユーザーボイスにロード(読み込み)します。ユーザーボイスもMIDI音色と同様に演奏に使うことができます。

各レイヤーには1音色が設定され、同レイヤー中の発音はすべて同一音色で行なわれます。レイヤーごとに音色を設定して同時に鳴らすことができます。複数のレイヤーで同一の音色を鳴らすこともできます。最大同時発音数は32で、32音を越える場合は新しい音が優先で発音されます。また、音の長さ(ゲートタイム)、トランスポーズ、オクターブシフトなどを変えて鳴らすこともできます。MIDI音源の音色については、マスターチューニングを変更することもできます。

音階を設定できるレイヤーでは、デフォルトでLEDボタンにイオニアンスケールのC調が割り当てられています。つまりピアノの白鍵の音階だけが割り当てられています(黒鍵=半音はなし)。このスケールはメニューから変更することができます。

MIDIのドラム音色には、音階は設定されていません。LEDボタン(ノート)毎にドラム/パーカッション音色がアサインされています。このため、スケール、オクターブシフト、トランスポーズを設定しても無効となります。

音色には、リバーブおよびコーラスのエフェクトをかけることができます。それぞれエフェクトのタイプと効果の深さを設定することができます。

他にも音色にさまざまな変化を付けて使うことができます。以下の項目をご参照ください。

【参照】

- * 音色を変える 『Instrument(インストゥルメント)』→ [22,46ページ](#)
- * 音量を変える 『Hardware Volume(ハードウェアボリューム)』→ [40ページ](#)、
『Volume(ボリューム)』→ [31,47ページ](#)
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)を変える 『Sound Length(サウンドレンクス)』→ [23,49ページ](#)
- * オクターブシフトを設定する 『Octave(オクターブ)』→ [24ページ](#)
- * トランスポーズ(移調)を設定する 『Master Transpose(マスタートランスポーズ)』→ [30,42ページ](#)
- * ノートのピッチを変える 『Master Tuning(マスターチューニング)』→ [56ページ](#)
- * スケールを変える 『Master Scale(マスタースケール)』→ [41ページ](#)
- * パンポット(ステレオの定位)を変える 『Panpot(パンポット)』→ [50ページ](#)
- * エフェクト(リバーブ/コーラス)をかける 『Effect menu(エフェクトメニュー)』→ [89ページ](#)
- * サンプリング音をロードする 『Samplings(サンプリング)』→ [80ページ](#)
付属ソフトウェア『TENORI-ON User Voice Manager』
インストゥールガイド

別のTENORI-ONやパソコンとの接続

TENORI-ONにはMini DINタイプのMIDI端子が装備されています。付属のMIDIケーブルを使って別のTENORI-ONと接続して同期演奏をさせたり、パソコンと接続してTENORI-ONから出力されるMIDI情報を記録したりすることができます。

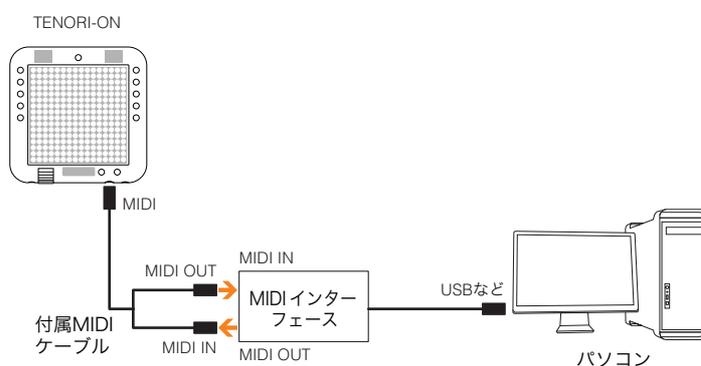
【参照】

- * MIDI仕様 『MIDIデータフォーマット』→105ページ、
『MIDIインプリメンテーションチャート』→107ページ

● TENORI-ONのMIDI情報をパソコンに送る

TENORI-ONの演奏情報 (MIDI情報) をパソコンに送信し、MIDIデータを管理することができます。

パソコンとの接続



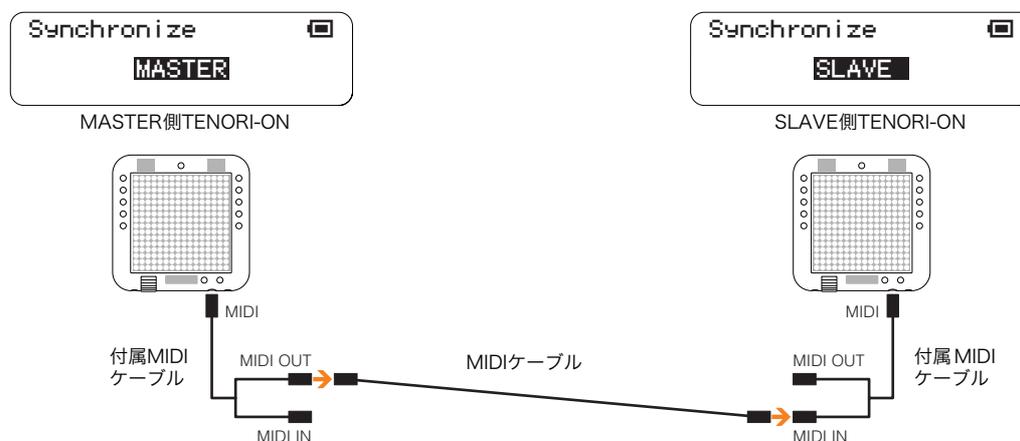
● 他のTENORI-ONとの同期演奏

2台のTENORI-ONをMIDI接続し、マスター側のTENORI-ONの再生/一時停止操作で、スレーブ側もコントロールすることができます。そのためには、それぞれのTENORI-ONにマスター側/スレーブ側を設定する必要があります。2台以上の同期演奏も可能です。その場合もマスターは1台のみ、それ以外のTENORI-ONはすべてスレーブに設定します。

【参照】

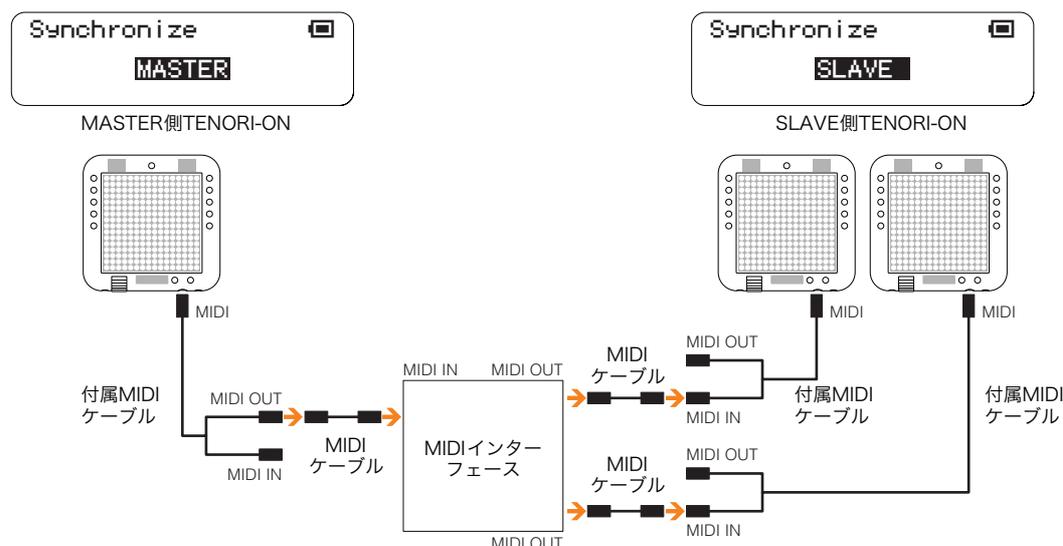
- * 同期演奏時のマスター/スレーブの設定 『Synchronize(シンクロナイズ)』→57ページ

2台のTENORI-ONの接続



ソングのレコーディングと再生

2台以上のTENORI-ONとの接続



電源を入れる順番

ミキサーやパワードスピーカーと接続して使用する場合は、電源オン/オフ時のノイズからスピーカーを保護するため、電源を入れる順番に気を配りましょう。電源を入れる前に、すべての機器のボリュームが絞られている(0になっている)ことを確認し、以下の順序で電源を入れます。

1 TENORI-ON → 2 ミキサー → 3 パワードスピーカー

電源を切る場合は、すべての機器のボリュームを下げたあと、逆の順番で切ってください。

1 パワードスピーカー → 2 ミキサー → 3 TENORI-ON

ソングのレコーディングと再生

TENORI-ONの演奏をリアルタイムレコーディングし、それをオリジナルファイル形式でSDメモリーカードに保存することができます。

このファイルはSongファイルと呼びます。Songファイルには、全レイヤー、全ブロックの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)やユーザーの操作の情報が時間経過に伴い記録されます。

Songファイルを再びTENORI-ONにロードし再生すると、LEDボタンやファンクションボタンの操作がすべて再現されます。もちろん別のTENORI-ONにロードしても同様に再現することができます。

このSongファイルをパソコンにコピーすることで、Webで公開したりメール添付して送付するなど、TENORI-ONをより幅広くお楽しみいただけます。

【参照】

- * TENORI-ONの演奏のレコーディング.....『Recording menu(レコーディングメニュー)』→99ページ
- * Songファイルの操作.....『File menu(ファイルメニュー)/Song(ソング)』→60ページ
- * 付属ソフトウェアの操作.....付属ソフトウェア『TENORI-ON User Voice Manager』インストールガイド

SDメモリーカードへのセーブとロード

Songファイル以外にも、以下のデータタイプでのファイル操作(セーブ/ロード/デリート/リネームなど)をTENORI-ON上で行なうことができます。

All Blocks ファイル	全レイヤー、全ブロックの演奏情報・設定情報ファイル。
Current Blockファイル	1ブロックの全レイヤーの演奏情報・設定情報ファイル。
Current Layer ファイル	1ブロックの1レイヤーの演奏情報・設定情報ファイル。
All Settingsファイル	全レイヤー、全ブロックの“発音ポイントの位置情報以外”の設定情報ファイル。
Samplingsファイル	Web上からダウンロード、またはパソコンなどで作成したサンプリングサウンドデータをパソコン上のUser Voice ManagerでTENORI-ON専用のファイル形式に変換すると、TENORI-ONのユーザーボイスエリア(音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>)にロードして鳴らすことができます。また、これらのユーザーボイスをファイルとしてSDメモリーカードにセーブすることもできます。

【参照】

- * ファイル操作『File manu(ファイルメニュー)』→ [58ページ](#)
- * サンプリング音のセーブ/ロード『Samplings(サンプリング)』→ [80ページ](#)、
付属ソフトウェア『TENORI-ON User Voice Manager』
インストールガイド

演奏以外の機能(インテリアモード/パワーセーブモード)

インテリアモードに設定すると、TENORI-ONを時計として使ったり、ソングを自動再生させたりすることができます。また、一定時間（時間設定は変更可）操作しなかった場合に動作を停止するパワーセーブモードに設定することもできます。

インテリアモード

TENORI-ONが時計として機能、またはソングを自動再生します。
インテリアモードではTENORI-ONで作成した演奏データを、時報やアラーム音として鳴らすことができます。また、時刻表示と同時にTENORI-ONで作成したソングやデモソングを再生させることもできます。

パワーセーブモード

省エネルギー設定です。シーケンサーは停止し、LEDボタンはすべて消灯します。

● インテリアモードでの動作タイプ(Interior Type)

Song(DEMO)	TENORI-ONの内蔵デモソングを再生します。
Song(SD)	SDメモリーカード内にあるSongファイルをランダムに再生します。
Clock	時計機能。LEDボタン面に時刻を表示します。
Clock+Song(DEMO)	時計機能と同時に内蔵デモ演奏を再生します。時刻表示のバックでソング演奏の発光アニメーションも動作します。
Clock+Song(SD)	時計機能と同時にSDメモリーカード内にあるSongファイルをランダムに再生します。時刻表示のバックでソング演奏の発光アニメーションも動作します。

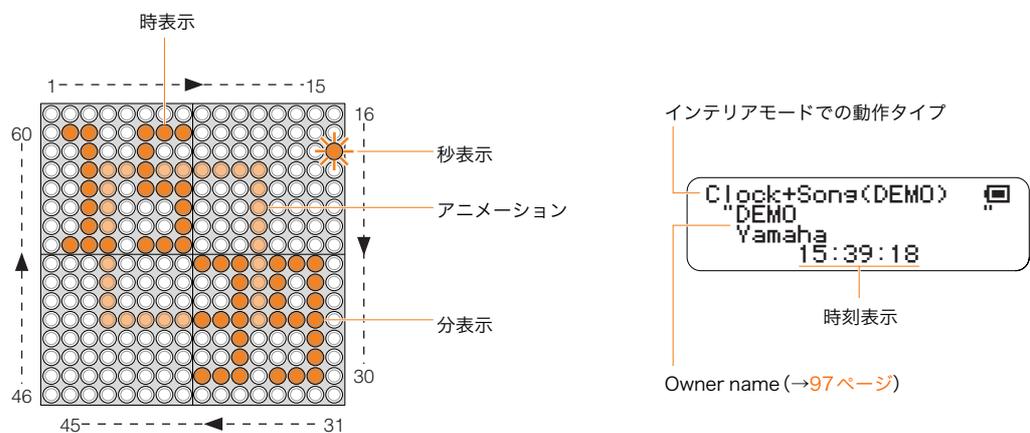
● 時計機能の仕様

- ・ 時分をLEDボタン面に数値表示(24時間表示)。秒はLEDボタンの最外周をドットで移動(全60ポイント)し、毎秒LEDボタン面の中央から□のアニメーションが拡大表示されます。
- ・ 時報を鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定できます。
- ・ アラームを鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定できます。
- ・ アラーム時刻の設定ができます。
- ・ オリジナルの時報音やアラーム音を作成することができます。

【参照】

* インテリアモードの各設定『Interior menu(インテリアメニュー)』→91ページ

例) 15時39分18秒の場合の表示



演奏モード

TENORI-ONの16レイヤーに振り分けられた6種類の演奏モードについて解説します。各演奏モードの特徴を理解することで、より個性豊かな表現が可能になります。

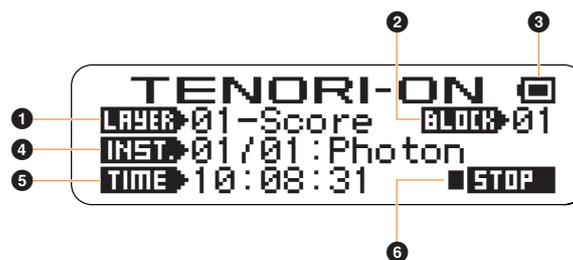
基本操作

TENORI-ONを演奏するための、基本的な設定・操作を解説します。

● ディスプレイ表示

電源を入れるとレイヤー1(Scoreモード)でTENORI-ONがスタートします。LEDボタンを押して発音ポイントを入力するだけですぐに演奏を楽しめます。電源を入れるとスタートアップ画面が数秒表示されたあと、ステータス画面が表示されます。このステータス画面がTENORI-ON演奏中の基本画面です。他の画面からステータス画面に戻るには、[CANCEL]ボタンを何度か押します。

ステータス画面



① LAYER (LAYER) 選択中のレイヤー番号-モード名を表示します。

② BLOCK (BLOCK) 選択中のブロック番号を表示します。

③ 電源 (電源アイコン) 電源の状態を表示します。

[電源アイコン] 電源アダプター駆動時

[電源アイコン] バッテリー残量・フル(電池駆動時)

[電源アイコン] バッテリー残量・中(電池駆動時)

[電源アイコン] バッテリー残量・残り少(電池駆動時)

[電源アイコン] バッテリー残量・空(電池駆動時)

*TNR-Oの電源表示は電源アダプターのみです。乾電池残量の表示はありません。

④ INST. (INST) 選択中の音色番号:音色名を表示します。

⑤ TIME (TIME)/REC (REC)/PLAY (PLAY) ... 通常演奏中は時刻を表示「TIME」時:分:秒”します。

レコーディング中はレコーディング経過時間を表示「REC」時:分:

秒”します。ソング再生中はソング再生時間を表示「PLAY」時:分:秒”します。

⑥ STOP (STOP)/START (START) 通常演奏中およびレコーディング中は「STOP」が表示されます。

停止中は「START」が表示されます。

❗ 電池が消耗して寿命が近づいてくると、バッテリー残量アイコンが[電源アイコン]に変わります。この表示が出たら、お早めに乾電池を6本とも新しいものに交換してください。さらに電池が消耗すると、バッテリー残量表示が[電源アイコン]に変わり、SDメモリーカードにアクセスできなくなります。ただちに乾電池を交換してください。(TNR-Wのみ)

● 演奏中の基本的な設定や変更操作

・[クリア]ボタンによる発音ポイントの消去

[CLEAR]ボタンを押すと、レイヤー上に設定されている発音ポイントをクリアできます。

レイヤー上の発音ポイントをクリアする	[CLEAR]ボタンを短く押します。
全ブロック(全レイヤー)の発音ポイントをクリアする	[CLEAR]ボタンを長押しします。

・ファンクションボタンによる設定/変更

演奏中の基本的な設定や変更操作は、ファンクションボタン [L1]～[L5]、[R1]～[R5] を押しながら LED ボタンを操作することで行なえます。

【参照】

* ファンクションボタンを使う……………『TENORI-ONクイックガイド』、
『ファンクションボタンによるパラメーター設定』→21ページ

音色を変える	[L1]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→22ページ)。
音の発音時間を変える	[L2]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→23ページ)。
音階のオクターブを変える	[L3]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→24ページ)。
Scoreモードのループ範囲を変える	[L4]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→25ページ)。
Randomモードで図形を回転させる	[L4]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→26ページ)。
ループのスピードを調節する	[L5]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→27ページ)。
レイヤーを切り変える	[R1]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→28ページ)。
テンポを変える	[R2]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→29ページ)。
音階を移調(トランスポーズ)する	[R3]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→30ページ)。
レイヤーの音量を調節する	[R4]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→31ページ)。
ブロックを切り変える レイヤーをコピー、ブロックをコピーする	[R5]ボタンを押しながらLEDボタンを操作します(→32ページ)。

・メニューによる設定/変更

ジョグダイヤルを操作し、液晶ディスプレイにメニューを表示させ、TENORI-ONの詳細な設定を行ったり、ファイルのセーブ/ロード、ソングのレコーディングなどを行なうことができます。

【参照】

* メニューによる設定……………『ジョグダイヤルによるパラメーター設定』→33ページ

自動演奏を停止する	ステータス画面表示中に[OK]ボタンを押すとその位置で停止します。 もう一度[OK]ボタンを押すと停止位置から再び再生スタートします。
全体の音量を調節する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Hardware Volume”画面(→40ページ)。
出力音をミュート(消音)する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Mute”画面(→44ページ)。
レイヤーのパンポットを調節する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Panpot”画面(→50ページ)。
リバーブまたはコーラスエフェクトをかける	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Effect menu”画面(→89ページ)。
発光アニメーション表示を変更する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Animation”画面(→50ページ)。
レイヤー上の発音ポイントをクリアする	[CLEAR]ボタンを短押し(長押しになる前に離す)します。 またはジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Clear this Layer”画面(→54ページ)。
全ブロック(全レイヤー)の発音ポイントをクリアする	[CLEAR]ボタンを長押しします。 またはジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Clear All Blocks”画面(→54ページ)。
全ブロック(全レイヤー)をリセットする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Reset All Blocks”画面(→54ページ)。
発音ポイントや設定情報をコピーする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで“Copy this Block”画面(→52ページ)、“Copy this Layer”画面(→53ページ)。

スケール(音階)を切り替える	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Master Scale"画面(→41ページ)。
MIDI音色のチューニングを変える	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Master Tuning"画面(→56ページ)。
再生位置をループの先頭に移動する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Reset Loop Timing"画面(→43ページ)。
本体の演奏を内蔵音源で鳴らすか鳴らさないか設定する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Local Control"画面(→57ページ)。
LEDボタンの長押し時間を調整する	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Push Sensitivity"画面(→56ページ)。
ファイル操作をする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"File menu"画面(→58ページ)。
SDメモリーカードをフォーマットする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"SD Format"画面(→97ページ)。
ファクトリーリセットする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Factory Reset"画面(→98ページ)。
演奏をレコーディングする	ジョグダイヤル+[OK]ボタンで"Recording Menu"画面(→99ページ)。

上記以外にも詳細な設定メニューが用意されています。以降のページをご覧ください。より深く TENORI-ON をお楽しみください。

Score(スコア)モード

レイヤー1～7にはScore(スコア)モードが割り当てられています。
電源を入れたときにはこのSCOREモードが設定されたレイヤー1が選ばれています。

Scoreモードの動作

縦の4つの点灯表示(ループインジケータ)が左から右へ移動し、LEDボタンがON(点灯)になっているところ(発音ポイント)を通過時に発音し同時に発光アニメーションを表示します。ループインジケータは右端に到達するとまた左端から右へ移動を繰り返します(ループ再生)。

液晶ディスプレイの右下に"STOP"が表示されているときに[OK]ボタンを押すと、自動演奏が一時停止し、ループインジケータが押した瞬間の位置で停止します。もう一度[OK]ボタンを押すとループインジケータは現在位置からまた動き始めますが、停止中にLEDボタン上でループインジケータを移動させておけば、別の位置から再生を開始させることもできます。

【参照】

- * ループのTop位置、End位置、ループ範囲は自由に設定できます。
(→Master Loop Point(マスター ループ ポイント)(43ページ)、Loop Point(ループポイント)(25ページ))
- * ループインジケータの移動速度(1拍の速度)は変更できます。(→Loop Speed(ループスピード)(27、48ページ))
- * ループインジケータを表示させない設定も可能です。(→Loop Indicator(ループインジケータ)(57ページ))
- * 発光アニメーションの種類を変更することができます。(→Animation(アニメーション)(50ページ))

工場出荷時、ScoreモードではLEDボタンの横軸が時間、縦軸が音階を表します。縦軸の音階はデフォルトでイオニアンスケール、ピアノの白鍵にあたる音階が割り当てられています。

【参照】

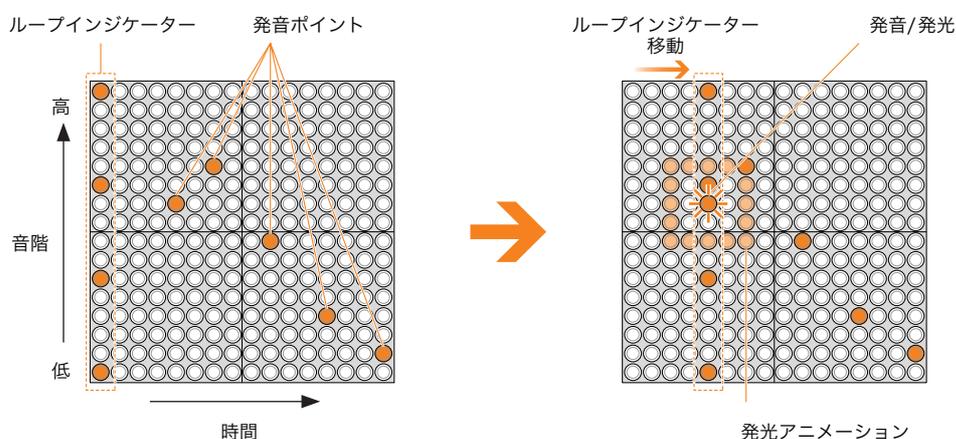
- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→Master Scale(マスタースケール)(41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→Octave(オクターブ)(24ページ))

音色にドラム音色を選んでいる場合は、縦軸には音階の代わりにそれぞれ異なる打楽器音が割り当てられているので、リズムトラックを作ることができます。(→音色(6ページ))

LEDボタンを短時間押しすると、そのLEDボタンに割り当てられた音程で発音します。LEDボタンを長押しした場合はLEDが点灯したままになり、発音ポイントを入力できます。長押しが認識される前にボタンを離すと発音ポイントは入力されません。もう一度長押しすると発音ポイントは消えます(ボタン消灯)。

【参照】

- * 長押しが認識される(発音ポイントが設定される)までの時間は、変更することができます。(→Push Sensitivity(プッシュセンシティビティ)(56ページ))
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)は、自由に設定できます。(→Sound Length(サウンドレングス)(23、49ページ))



Random(ランダム)モード

レイヤー8～11にはRandom(ランダム)モードが割り当てられています。

Randomモードの動作

LEDボタンを長押しして発音ポイントを入力すると、そのLEDボタン上で発音/発光が繰り返されます。さらに別な発音ポイントを複数入力すると、入力した順に発音ポイント間で光が移動し、Scoreモードとはまったく違ったタイミングのループサウンドを演奏させることができます。

【参照】

- * 発音ポイントは、設定されている1拍のタイミングで次の発音ポイントへ移動します。1拍の長さはループスピードで調整できます。(→Loop Speed (27, 48ページ)、Master Loop Speed (42ページ))

[L4]ボタンを押した状態で、図形を回転させたい方向とスピードでLEDボタンを押しながらぞると、発光ポイントが描く図形を発音させながら回転させることができます。回転することで発音ポイントが移動するので、徐々に変化するループサウンドが得られます。

【参照】

- * Rotation (26ページ)

LEDボタンを押すと、その音程で発音します。そのまま長押しすることで発音ポイントを入力(ボタン点灯保持)できます。長押しが認識される前にボタンを離すと発音ポイントは入力されません。もう一度長押しすると発音ポイントは消えます(ボタン消灯)。

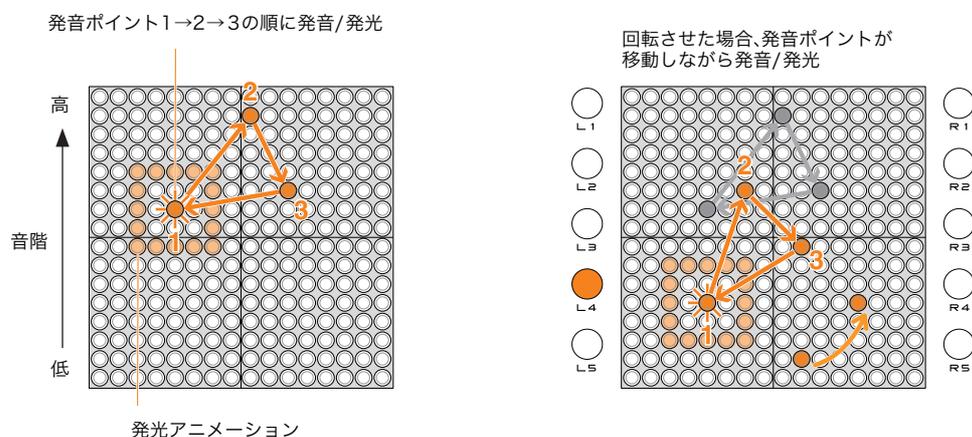
【参照】

- * 長押しが認識される(発音ポイントが入力される)までの時間は、変更することができます。(→Push Sensitivity (56ページ))
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)は、自由に設定できます。(→Sound Length (23, 49ページ))

工場出荷時、LEDボタンの縦軸にはScoreモードと同様、イオニアンスケール(ピアノの白鍵にあたる音階)が割り当てられています。横軸には何も割り当てられていませんが、発音ポイント間の距離を変えることで、発音するタイミングを変えることができます。

【参照】

- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→Master Scale (41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→Octave (24ページ))
- * 発光アニメーションの種類を変更することができます。(→Animation (50ページ))



Draw(ドロー)モード

レイヤー12、13にはDraw(ドロー)モードが割り当てられています。

Drawモードの動作

LEDボタンを押したり、ボタンを連続的に指でなぞったりした演奏動作を一定時間記憶し、記憶した通りに光と音を繰り返し再生します。再生中にさらに演奏を加えることで、音をどんどん重ねていくことができます。

【参照】

- * LEDボタン操作の記憶(レコーディング)および再生は、Scoreモードの16拍分を1単位としてループします。LEDボタン操作は、次のループで再生されます。ループの時間(周期)はループスピードで調整できます。(→Loop Speed(27,48ページ)、Master Loop Speed(42ページ))
- * Drawモードでは、演奏の一部だけを消すことはできません。[CLEAR]ボタンを押した場合は、記憶していた演奏がすべて消去されます。

LEDボタンを押すと、その音程で発音します。同時にそのボタン操作が記憶されます。Drawモードでは、Scoreモードのように発音ポイント入力のための長押しは必要ありません。

このようなことから、DrawモードではLEDボタンをON/OFFするというよりも、まさに描く(Draw)ようにLEDボタン面を指でなぞって演奏をリアルタイムに入力することが可能です。

【参照】

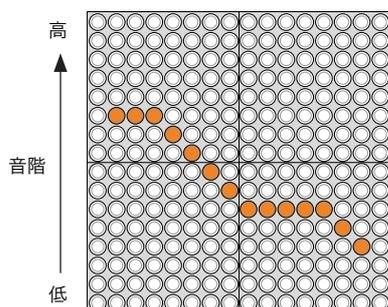
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)は、自由に設定できます。(→Sound Length(23,49ページ))

工場出荷時、LEDボタンの縦軸にはScoreモードと同様、イオニアンスケール(ピアノの白鍵にあたる音階)が割り当てられています。横軸には何も割り当てられていませんが、指を横方向に滑らせることで連続的に発音させることが可能です。

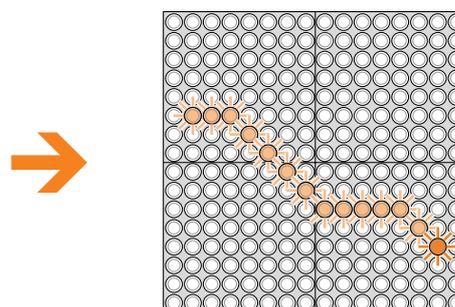
【参照】

- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→Master Scale(41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→Octave(24ページ))
- * 発光アニメーションの種類を変更することができます。(→Animation(50ページ))

LEDボタンを押して、カーブを描くと...



一定時間後に、そのカーブを描いて発音/発光



Bounce(バウンス)モード

レイヤー14にはBounce(バウンス)モードが割り当てられています。

Bounceモードの動作

LEDボタンを押すと、光のドットが底辺に向かって下降し、LEDボタンの最下段に到達すると発音します。その後、光のドットはボールがバウンドするように最初に押したLEDボタンに向かって上昇します。この動作をループで繰り返します。

LEDボタンの縦軸が時間で、底辺までの距離が遠いほど発音の周期が長くなります。発音の周期を自由に設定することができます。

【参照】

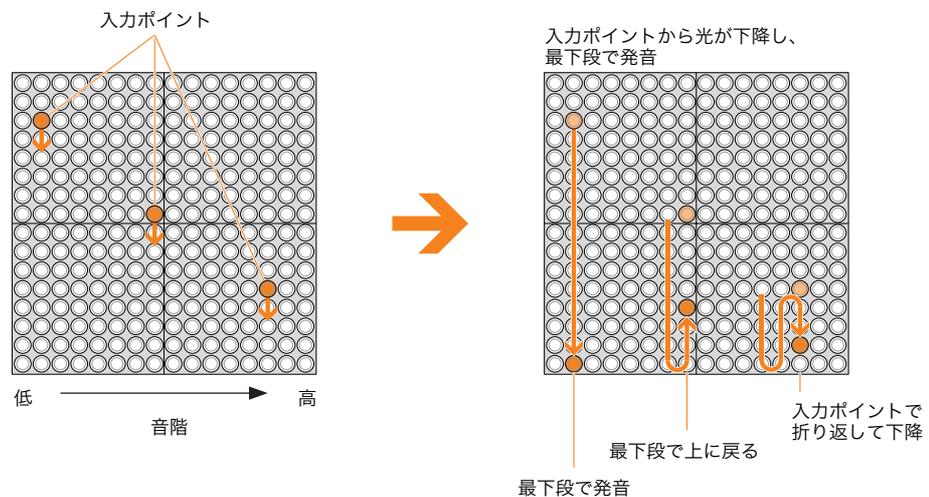
- * 光のドットの移動時間は、LEDボタン1つ分=1拍です。1拍の長さはループスピードで調整できます。(→Loop Speed (27、48ページ)、Master Loop Speed (42ページ))

LEDボタンの横軸にはScoreモードと同様、イオニアンスケール(ピアノの白鍵にあたる音階)が割り当てられています。左から右方向に音階が高くなります。

発音を止めるには、該当する発音ポイントの最下段のLEDボタンを押します。

【参照】

- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→Master Scale(41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→Octave(24ページ))
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)は、自由に設定できます。(→Sound Length(23、49ページ))



Push(プッシュ)モード

レイヤー15にはPush(プッシュ)モードが割り当てられています。

Pushモードの動作

LEDボタンを押している間、徐々に音と光が変化します。光は押されたLEDボタンを中心に徐々に明るくなり、光る範囲も広がります。音の変化のしかたは、音色によります。持続音で、追加音が時間変化する音色にのみ有効な仕様です。Pushモード用に用意された音色(音色番号15/01～15/16)を推奨します。

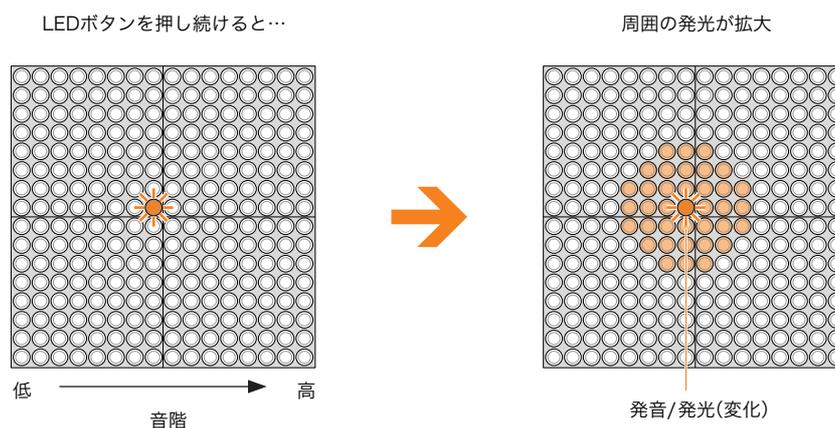
LEDボタンを押している時間が短い場合、ボタンを離すと音と光は止まります。逆に一定時間を超えて押したままにした場合は、ボタンを離しても発音/発光を続けます。

発音を止めるには、発音ポイント(光の中心)のLEDボタンを押します。

工場出荷時、LEDボタンの横軸には、イオニアンスケール(ピアノの白鍵にあたる音階)が割り当てられています。縦軸には何も割り当てられていません。

【参照】

- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→ Master Scale(41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→ Octave(24ページ))



Solo(ソロ)モード

レイヤー16にはSolo(ソロ)モードが割り当てられています。

Soloモードの動作

LEDボタンを押している間、繰り返し発音します。LEDボタンを離すと発音が止まります。

押されたLEDボタンの縦1列が、光が上に移動するように点灯します。

LEDボタンの縦軸は繰り返しの時間間隔で、上へ行くほど繰り返す時間の間隔が短く、下へ行くほど長くなります。最下段を押した場合は単音の発音となりますが、音色が持続音の場合は、LEDボタンを押している間発音し続けます。

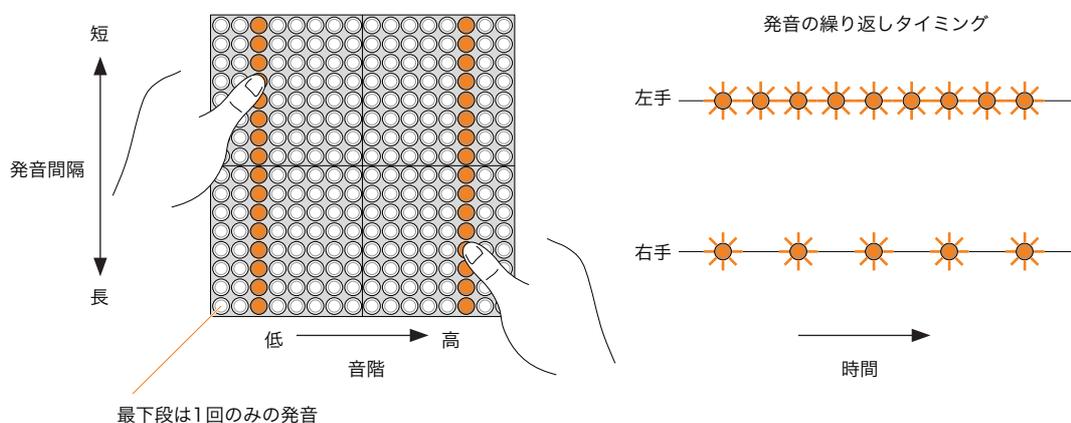
【参照】

- * 繰り返し発音の時間間隔はループスピードで調整できます。LEDボタン最上段の繰り返し時間間隔はループスピードの1/2、以下LEDボタン位置が下に行くごとに繰り返し時間間隔は倍になります。(→Loop Speed(27,48ページ)、Master Loop Speed(42ページ))
- * ノートの発音時間(ゲートタイム)は、自由に設定できます。(→Sound Length(23,49ページ))

LEDボタンの横軸にはScoreモードと同様、イオニアンスケール(ピアノの白鍵にあたる音階)が割り当てられています。左から右方向に音階が高くなります。

【参照】

- * イオニアンスケール以外のスケールを割り当てることもできます。(→Master Scale(41ページ))
- * オクターブを変更することもできます。(→Octave(24ページ))
- * 繰り返し音の最初の発音タイミングを、Scoreモードの発音タイミングに合わせる(クオンタイズ)ことができます。(→Quantize(56ページ))



パラメーター設定

TENORI-ONには、音色やテンポなどの各種設定の変更手段として、以下の2つの方法があります。

■ファンクションボタン([L1]～[L5]、[R1]～[R5])による方法(→21ページ)

音色切り替え、レイヤーやブロックの切り替えなど、よく使う機能はファンクションボタンを押しながらLEDボタンを操作することで、素早く設定することができます。また設定状態がLEDボタン上に表示されるので、感覚的に設定することができます。

■ジョグダイヤルでメニューを選び設定する方法(→33ページ)

各パラメーターの細かな設定を行ったり、ファイルのセーブ/ロード、ソングのレコーディングなどを行ないます。TENORI-ONをより深く使うことができます。

LEDボタンの長押しの判定時間のような細かな動作仕様なども設定できるので、自分の感覚に合ったカスタマイズが可能です。

- ファンクションボタン ([L1]～[L5]、[R1]～[R5]) で設定されるパラメーターも、変更時にその設定値が液晶ディスプレイに表示されます。このときジョグダイヤルを操作することで、パラメーター値をより細かく設定することができます。

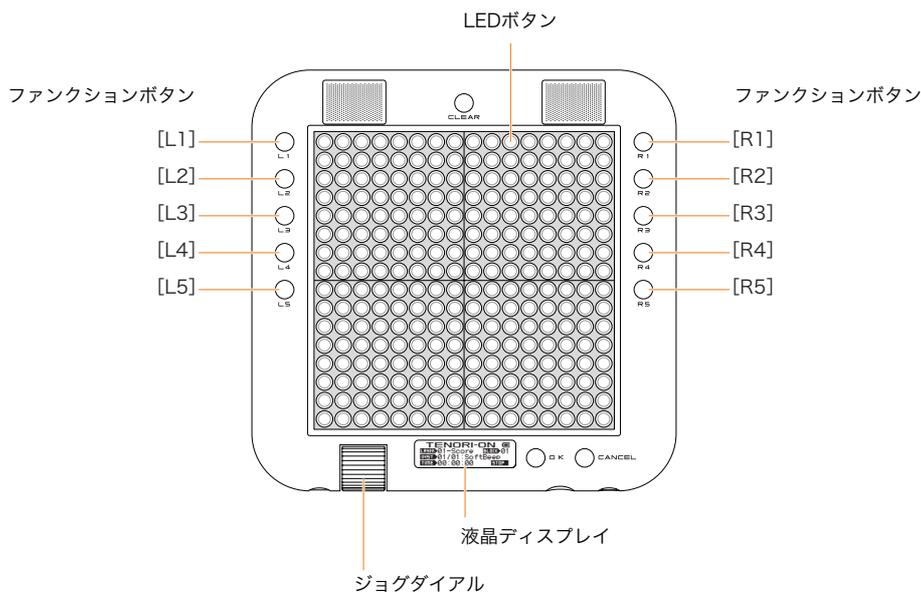
ファンクションボタンによるパラメーター設定

TENORI-ONの本体左右にある10個のファンクションボタン[L1]～[L5]、[R1]～[R5]とLEDボタンを使って設定します。

ファンクションボタンを押すと、そこに割り当てられているパラメーターの設定値がLEDボタン上に表示されます。

パラメーターの変更は、LEDボタンを押して表示(位置)を変えることで行ないます。

パラメーター設定は、同時に液晶ディスプレイにも表示されます。ジョグダイヤルを使って設定値をより細かく設定することができます。



ファンクションボタンの機能は以下の通りです。

[L1]	Instrument	現在選択中のレイヤーで鳴らす音色の選択	22ページ
[L2]	Sound Length	現在選択中のレイヤーの全発音ポイントの発音時間(ゲートタイム)の設定	23ページ
[L3]	Octave	現在選択中のレイヤーの全発音ポイントのオクターブの設定	24ページ
[L4]	Loop Point(Scoreモード)	現在選択中のレイヤーがScoreモードの場合: 演奏のループ範囲の設定	25ページ
	Rotation(Randomモード)	現在選択中のレイヤーがRandomモードの場合: 発音ポイント図形の回転方向と回転スピードの設定	26ページ
[L5]	Loop Speed	1拍の速度(ループインジケータの移動速度)の設定(現在 選択中のレイヤーがScoreモードの場合のみ有効)	27ページ
[R1]	Layer No.	レイヤーの切り替え	28ページ
[R2]	Master Tempo	全レイヤー/全ブロック共通のマスターテンポの設定	29ページ
[R3]	Master Transpose	全レイヤー/全ブロック共通のトランスポーズ(移調)の設定	30ページ
[R4]	Volume	レイヤーごとの音量の設定(全ブロック共通) マスターボリュームの設定	31ページ
[R5]	Block No.	ブロックの切り替え レイヤーコピー、ブロックコピー	32ページ

[L1] Instrument(インストゥルメント)

現在選択中のレイヤーで鳴らす音色を設定します。

[L1] ボタンを押すと、LEDボタン上に十字線が表示されます。十字線の交差点が現在選択されている音色番号です。

[L1] ボタンを押しながら目的の音色番号のLEDボタンを押して選択します。

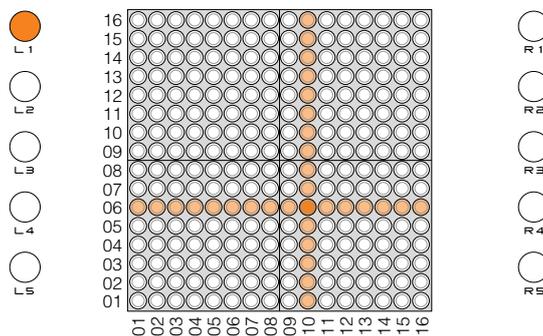
音色番号および音色名は「音色リスト」(→108ページ)をご参照ください。

音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>はユーザーボイスです。

- ユーザーボイス以外の音色からユーザーボイスに設定すると、Sound Length(→49ページ)は1000(msec)に設定されます。また、ユーザーボイスからユーザーボイス以外の音色に設定すると、Sound Lengthは100(msec)に設定されます。
- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。

■設定範囲..... 縦軸:01~16、横軸:01~16

■デフォルト..... レイヤーごとに異なります。



十字線の交差点が選択されている音色番号(この例では06/10)



【参照】

* Layer menu/Instrument(→46ページ)、音色リスト(→108ページ)

[L2] Sound Length(サウンドレングス)

発音ポイントの発音時間(ゲートタイム)を設定します。

現在選択中のレイヤーのすべての発音ポイントに共通の設定です。

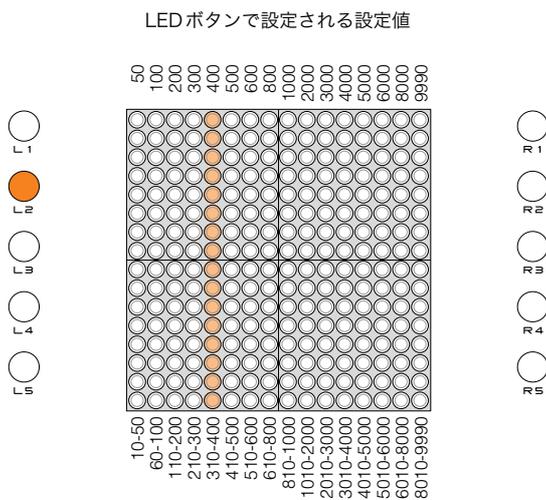
[L2] ボタンを押すと、LEDボタン上にゲートタイムの設定を表す縦ラインが表示されます。[L2] ボタンを押しながら縦ラインを左右に移動させてゲートタイムを設定します。右方向ほどゲートタイムが長くなります。

LEDボタンでの設定は下図のように段階的になるので、微調整はジョグダイヤルを使って±10msec単位で行ないます。

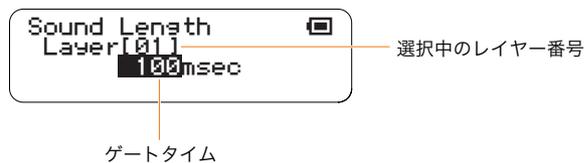
- 音色によっては、Sound lengthを短くしても効果がなかったり、Sound Lengthを変更することで音色がばらついたりするものがあります。また、ユーザーボイスは0.97秒以上に設定しても効果はわかりません。

■ 設定範囲..... 10msec~9990msec

■ デフォルト..... 100msec(全レイヤー)



ジョグダイヤルで設定した値の表示位置



【参照】

- * Layer menu/Sound Length (→49ページ)

[L3] Octave (オクターブ)

発音ポイントのオクターブを設定します。

現在選択中のレイヤーのすべての発音ポイントに共通の設定です。

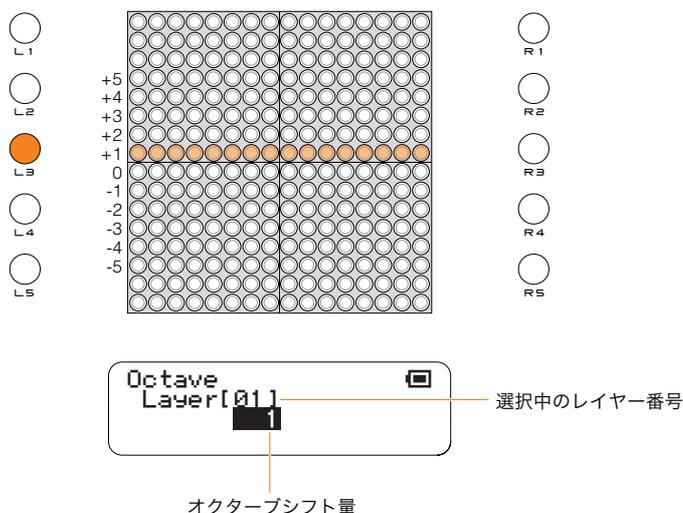
[L3] ボタンを押すと、LEDボタン上にオクターブの設定を表す横ラインが表示されます。[L3] ボタンを押しながら横ラインを上下に移動させてオクターブを設定します。

下から8段目のLEDボタンはオクターブシフトなしです。1 段上に行くごとに1 オクターブアップ、1 段下に行くごとに1 オクターブダウンされます。設定範囲 (-5~5オクターブ) 以外のLED ボタンを押しても無効となります。

- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。

■ 設定範囲..... -5~5(オクターブ)

■ デフォルト..... 0(全レイヤー)



ファンクションボタンによるパラメーター設定 [L4] Loop Point (ループポイント) : Score モードの場合

[L4] Loop Point(ループポイント):Scoreモードの場合

現在選択中のレイヤーがScoreモードの場合は、演奏のループ範囲を設定します。

[L4]ボタンを押すと、LEDボタンの上段に開始位置 (TOP)、下段に終了位置 (END)を表す縦ラインが表示されます。

[L4]ボタンを押しながらそれぞれの縦ラインを左右に移動させてループポイントを設定します。

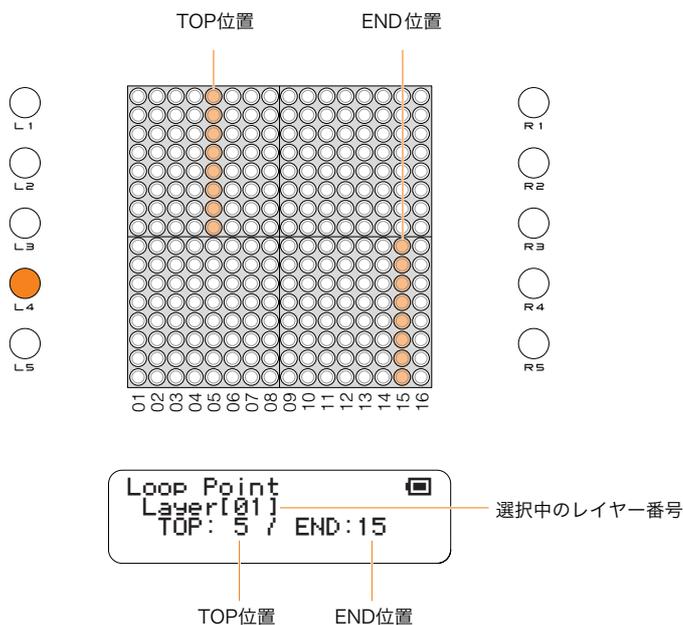
TOPの位置とENDの位置を含んでループします。

ジョグダイヤルを動かすと、ループ区間を固定したまま左右に移動することができます。

- END位置よりもTOP位置を後ろには設定できません。その場合はTOP位置=END位置となり1拍のループとなります。
- Play menuのMaster Loop Point(全レイヤー設定)を変更することで、全Scoreモードのループポイントを同時に変更できます。

■ 設定範囲..... TOP=1~16,END=1~16

■ デフォルト..... TOP=1,END=16



【参照】

- * Play menu/Master Loop Point(→43ページ)

[L4] Rotation (ローテーション) : Randomモードの場合

現在選択中のレイヤーがRandomモードの場合は、発音ポイント全体の回転方向と回転スピードを設定します。
[L4]ボタンを押しながら、回転したい方向とスピードで、LEDボタンをなぞって設定します。

- 回転方向とスピードは同じレイヤー上では全ブロック共通の設定となります。
- 回転を止める場合は [L4] ボタンを押しながら、LED ボタンを1秒以上長押しするか、同じLEDボタンを2度押してください。
[CLEAR] ボタンを押しても発音ポイントがクリアされるだけで、回転の情報は残りますのでご注意ください。
- 回転実行中は、LEDボタンによる発音ポイントの入力や削除はできません。

■設定範囲..... LEDボタンをなぞるスピードを検出し、以下の8段階のうち最も近い回転スピード*に設定されます。

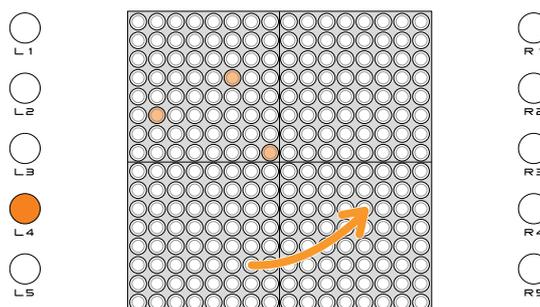
- ・4拍 (384クロック)
- ・3拍 (288クロック)
- ・2拍 (182クロック)
- ・1拍 (96クロック)
- ・3/4拍 (72クロック)
- ・1/2拍 (48クロック)
- ・1/4拍 (24クロック)
- ・1/8拍 (12クロック)

*回転スピード:32ステップで1回転します。つまり1ステップで11.25° 回転します。ここでいう回転スピードとは、何拍毎に1ステップ回転するかを表したものです。

【参照】

* 1拍の長さはループスピードで調整できます。(→ Loop Speed (27, 48ページ)、Master Loop Speed (42ページ))

■デフォルト..... なし



Rotation
Layer[08] [Random]

選択中のレイヤー番号

【参照】

* Random (ランダム) モード (→15ページ)

[L5] Loop Speed(ループスピード)

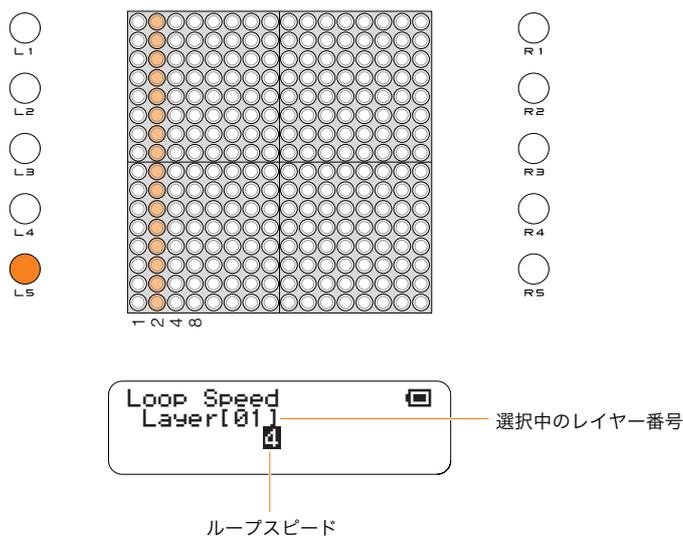
1 拍の発音テンポを設定します。

[L5] ボタンを押すと、LEDボタン上にループスピードの設定を表す縦ラインが表示されます。左から4列がそれぞれ設定値の1、2、4、8に対応します。[L5] ボタンを押しながら該当するLEDボタンを押して設定します。それ以外のLEDボタンを押しても無効となります。

- Pushモードでは無効です。
- Play menuのMaster Loop Speed (全レイヤー設定)を変更すると、この設定も書き換えられます。

■ 設定範囲..... 1(4分音符長)、2(8分音符長)、4(16分音符長)、8(32分音符長)

■ デフォルト..... 4(レイヤー14は8)



【参照】

- * Play menu/Master Loop Speed (→42ページ)、Layer menu/Loop Speed (→48ページ)

[R1] Layer No.(レイヤーナンバー)

現在選択中のレイヤーから別のレイヤーに切り替えます。

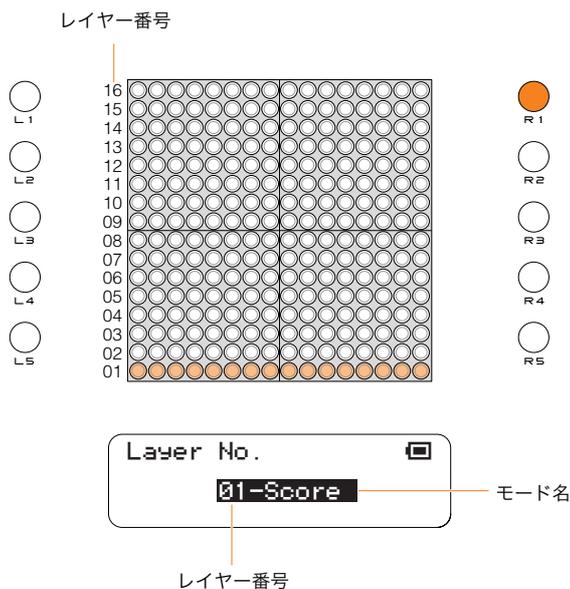
[R1]ボタンを押すと、LEDボタン上に現在選択中のレイヤー番号を表す横ラインが表示されます。最下段がレイヤー1、最上段がレイヤー16です。

[R1]ボタンを押しながら目的のレイヤー番号のLEDボタンを押します。同一横軸上であれば、どのLEDボタンを押しても同じです。

液晶ディスプレイには、選択されたレイヤー番号と、そのレイヤーのモード名が表示されます。

■設定範囲..... 1~16

■デフォルト..... 1



[R2] Master Tempo(マスターテンポ)

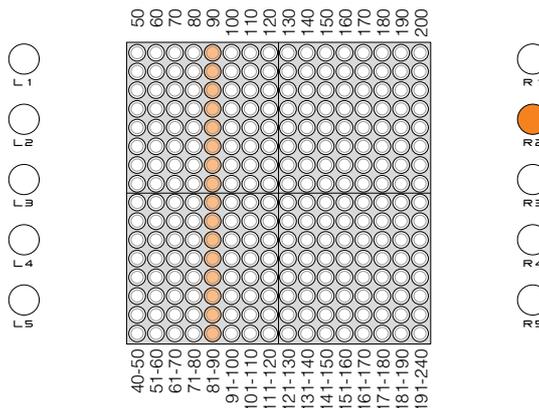
全レイヤー、全ブロックに共通のマスターテンポを設定します。

[R2]ボタンを押すと、LEDボタン上にマスターテンポの設定を表す縦ラインが表示されます。[R2]ボタンを押しながら縦ラインを左右に移動させてマスターテンポを設定します。右方向ほどテンポが速くなります。

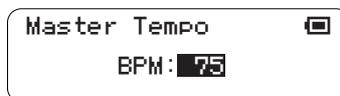
LEDボタンでの設定は下図のように段階的になるので、微調整はジョグダイヤルで行ないます。

- 設定範囲..... 40～240(LEDボタンでは50～200)
- デフォルト..... 75

LEDボタンで設定される設定値



ジョグダイヤルで設定した値の表示位置



【参照】

- * Play menu/Master Tempo(→40ページ)

[R3] Master Transpose(マスタートランスポーズ)

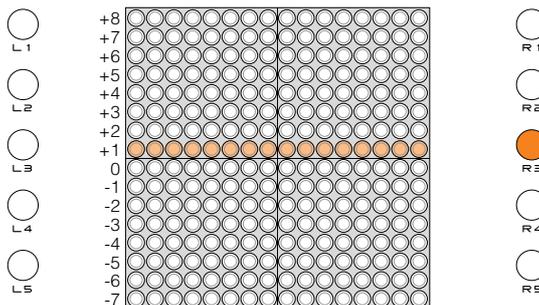
全レイヤー、全ブロック共通のトランスポーズ(移調)を設定します。

[R3]ボタンを押すと、LEDボタン上にマスタートランスポーズの設定を表す横ラインが表示されます。[R3]ボタンを押しながら横ラインを上下に移動させてマスタートランスポーズを設定します。下から8段目のLEDボタンがトランスポーズなし(0)。1段上に行くごとに+1半音、1段下に行くごとに-1半音トランスポーズされます。

- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。

■ 設定範囲..... -7~+8(単位は半音)

■ デフォルト..... 0



【参照】

- * Play menu/Master Transpose(→ [42ページ](#))

[R5] Block No.(ブロックナンバー)

現在選択中のブロックから別のブロックに切り替えます。

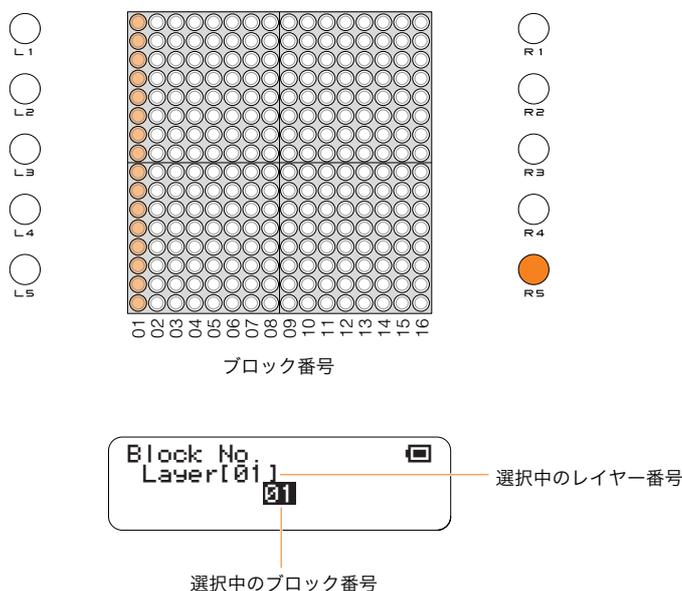
[R5]ボタンを押すと、LEDボタン上に現在選択中のブロック番号を表す縦ラインが表示されます。左端がブロック1、右端がブロック16です。

[R5]ボタンを押しながら目的のブロック番号のLEDボタンを押します。同一縦軸上であれば、どのLEDボタンを押しても同じです。

- Randomモード、Bounceモードを動作させながらブロック移動する際、以下の場合は発音タイミングがループの先頭に戻ります。Pushモードの場合は、ブロック移動すると常に再発音されます。
 - ・移動先のブロックに、上記3つのモードが動作していない(発音ポイントが未設定)場合。
 - ・移動先のブロックで、違う位置に発音ポイントが設定されている場合。

■設定範囲..... 1~16

■デフォルト..... 1



[R5] ボタンを使ってのレイヤーコピー

[R5]ボタンを押しながら以下の操作をすることで、他のブロックへ1レイヤーまたは全レイヤーをコピーすることができます。

1. コピー元のブロックが現在選択中のブロックと異なる場合は、[R5]ボタンを押しながらコピー元ブロックのLEDボタンを押します(LED点灯:低輝度)。
2. [R5]ボタンを押しながらコピー元ブロックのLEDボタン(低輝度で点灯中)の最下段を押すたびに、LEDボタンの輝度が(低→中→高→低...)と変わり、機能も(ブロック移動→1レイヤーコピー→全レイヤーコピー→ブロック移動...)の順番に切り替わります。コピーしたいレイヤーが1レイヤーか全レイヤーかによって、以下の操作を行いません。

現在選択中のレイヤーのみをコピーする場合は、[R5]ボタンを押したままコピー元ブロックのLEDボタン(低輝度で点灯中)の最下段を1回押したあと(低輝度→中輝度)、[R5]ボタンを押したままコピー先ブロックのLEDボタン(どこでもよい)を押します。

現在選択中のブロックの全レイヤーをコピーする場合は、[R5]ボタンを押したままコピー元ブロックのLEDボタン(低輝度で点灯中)の最下段を2回押したあと(低輝度→中輝度→高輝度)、[R5]ボタンを押したままコピー先ブロックのLEDボタン(どこでもよい)を押します。

コピーが終了すると、コピー先のブロックに移動し、自動的にLEDボタンは低輝度(ブロック移動状態)に戻ります。

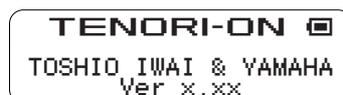
ジョグダイヤルによるパラメーター設定

液晶ディスプレイに表示されるメニューからサブメニューを選んでいき、目的のパラメーター設定画面を呼び出し、ジョグダイヤルまたはLEDボタンで設定する方法です。

基本操作

- 1 電源を入れると、スタートアップ画面が表示された後、ステータス画面が表示されます。

スタートアップ画面

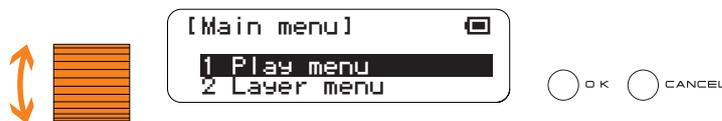


ステータス画面



- 2 ステータス画面が表示された状態でジョグダイヤルを動かすと、メインメニューが表示されます。

メインメニュー



反転表示されている項目が、選択されているメニューです。
メインメニューには以下の9項目があります。

1	Play menu	全レイヤー/全ブロック共通のパラメーター設定	39ページ
2	Layer menu	レイヤーごとのパラメーター設定	45ページ
3	Edit menu	コピー、クリア、リセットなどのデータ編集	51ページ
4	Preference menu	機器共通の初期設定	55ページ
5	File menu	データファイルのセーブ/ロード	58ページ
6	Effect menu	リバーブ、コーラスのエフェクト設定	89ページ
7	Interior menu	演奏時以外の動作(ソング再生、時計)の設定	91ページ
8	System menu	ファクトリーリセット、SDメモリーカードのフォーマットなど	96ページ
9	Recording menu	ソングのレコーディングと保存	99ページ

- 3 ジョグダイヤルでメニューをスクロールし、変更したいメニュー名を反転表示させ、[OK]ボタンを押すことで、その項目のサブメニュー画面へ移動します。



- 4 ジョグダイヤルでサブメニューをスクロールし、変更したい項目名を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。目的の設定画面が表示されます。



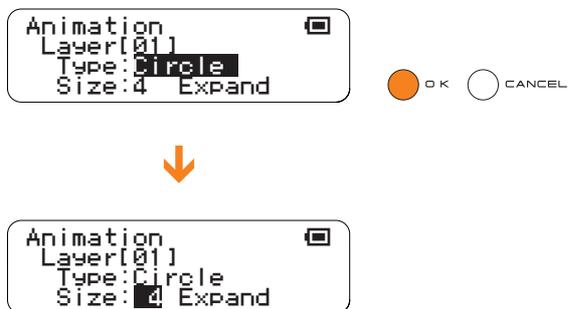
- File menuには、サブメニューの下にもうひとつ階層（オペレーション）があるので、サブメニュー選択後に表示される画面でさらにオペレーションを選択します。詳しくはFile menu(→58ページ)をご参照ください。

- 5 設定画面には、現在設定されているパラメーター値が反転表示されています。ジョグダイヤルを操作してこの値を設定します。パラメーターによっては、LEDボタンで設定する場合があります。



- 6 [OK]ボタンを押すと設定が確定(保存)され、ひとつ前の画面に戻ります。
[CANCEL]ボタンを押すと設定は保存されず、ひとつ前の画面に戻ります。

- 同画面中に複数のパラメーターがある場合は、[OK]ボタンを押すと設定が確定され、次のパラメーター値が反転表示されます。



- 7 最初の画面に戻るには、[CANCEL]ボタンを何度か押します。

データの保存と初期化

電源を切ったら消えるデータ

■オールブロックセット(発音ポイントも含めた全ブロック/全レイヤーの設定)

電源を切ったら消えてしまいますので、電源を切る前に65ページのSave All Blocksを行なって、SDメモリーカードに保存してください。

■以下の表のバックアップ欄に"Save As Defaultの値"と書かれているパラメーターの設定値

電源を切ったら消えてしまいますので、電源を切る前に96ページのSave As Defaultを行なって、フラッシュROMに保存してください。フラッシュROMに保存した"Save As Defaultの値"は、次回起動時の初期値になります。

バックアップ欄に"自動バックアップ"と書かれているパラメーターの設定値は、設定変更時に自動的にバックアップされます。バックアップされた設定は次回起動時の初期値になります。

初期化

システム全体の設定を工場出荷時の設定に戻したいときは、98ページのFactory Resetを行なって初期化してください。全ブロック/全レイヤーの発音ポイントと設定情報を初期化したい場合は54ページのReset All Blocksを行ないます。

- ❗ 初期化を行なうとすべてのデータが消えてしまいますので、大切なデータはあらかじめSDメモリーカードに保存してください。
- ❗ Reset All Blocksを行なうと全ブロック/全レイヤーのデータが消えてしまいますので、大切なデータはあらかじめSDメモリーカードに保存してください。

メニュー

パラメーター		バックアップ	工場出荷時/ Factory Reset時	
Play Menu	Hardware Volume	自動バックアップ	96	
	Master Tempo		75	
	Master Scale	Save As Defaultの値	Ionian	
	Master Transpose		0	
	Master Loop Speed	バックアップできません。 ただしここでの変更はLayer MenuのLoop Speedに反映されますので、Save As Defaultを行なうことでLayerの設定として保存できます。	4	
	Master Loop Point	TOP	バックアップできません。	1
		END	ただしここでの変更はファンクションボタンで設定するレイヤーのLoop Pointに反映されますので、Save As Defaultを行なうことで各Layerの設定値として保存できます。	16
Reset Loop Timing		バックアップできません	OK	
Mute			OFF	
Layer Menu	Instrument	Layer 1	01/01	
		Layer 2	02/15	
		Layer 3	03/01	
		Layer 4	04/08	
		Layer 5	05/03	
		Layer 6	06/10	
		Layer 7	07/10	
		Layer 8	08/05	
		Layer 9	09/01	
		Layer 10	10/13	
		Layer 11	11/12	
		Layer 12	12/01	
		Layer 13	13/01	
		Layer 14	14/04	
		Layer 15	15/02	
		Layer 16	16/02	

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 メニュー

パラメーター		バックアップ	工場出荷時/ Factory Reset時	
Layer Menu	Volume	各 Layer 1～16	96	
	Loop Speed	各 Layer 1～16	4(レイヤー14は8)	
	Sound Length	各 Layer 1～16	100	
	Panpot	各 Layer 1～16	CENTER	
	Animation	Type Layer1		Circle
		Size Layer1		3
		拡大/縮小 Layer1		拡大
		Type Layer2		Square
		Size Layer2		3
		拡大/縮小 Layer2		拡大
		Type Layer3		Diamond
		Size Layer3		4
		拡大/縮小 Layer3		縮小
		Type Layer4		Cross
		Size Layer4		3
		拡大/縮小 Layer4		拡大
		Type Layer5		Plus
		Size Layer5		3
		拡大/縮小 Layer5		拡大
		Type Layer6		Circle
		Size Layer6		4
		拡大/縮小 Layer6		縮小
		Type Layer7		Diamond
		Size Layer7		5
		拡大/縮小 Layer7		拡大
		Type Layer8		Circle
		Size Layer8		4
		拡大/縮小 Layer8		拡大
		Type Layer9		Square
		Size Layer9		3
		拡大/縮小 Layer9		縮小
		Type Layer10		Diamond
		Size Layer10		4
拡大/縮小 Layer10			拡大	
Type Layer11			Plus	
Size Layer11			6	
拡大/縮小 Layer11			縮小	
Type Layer12		Circle		
Size Layer12		5		
拡大/縮小 Layer12		拡大		
Type Layer13		Square		
Size Layer13		4		
拡大/縮小 Layer13		拡大		
Type Layer14		Simple		
Size Layer14		1		
拡大/縮小 Layer14		なし		
Type Layer15		Circle		
Size Layer15		3→4→5		
拡大/縮小 Layer15		拡大縮小		
Type Layer16		縦線		
Size Layer16		1		
拡大/縮小 Layer16		なし		
Edit Menu	-	-	-	
Preference Menu	Quantize		ON	
	Push Sensitivity		120	
	Master Tuning	自動バックアップ	0	
	Local Control		ON	
	Synchronize		MASTER	
	Loop Indicator		ON	
File Menu	-	-	-	
Effect Menu	Reverb Type		HALL1	
	Reverb Param	自動バックアップ	40	
	Chorus Type		NO EFFECT	
	Chorus Param		0	

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ファンクションボタンで設定

パラメーター		バックアップ	工場出荷時/ Factory Reset時	
Interior Menu	Interior START	-	-	
	Interior Type	自動バックアップ	Song (DEMO)	
	Saver Type		Interior	
	Saver Time		10	
	Time Signal On/Off		OFF	
	Alarm On/Off		0	
	Set Alarm			時 分
	Save As Time Signal		バックアップできません	-
	Save As Alarm	自動バックアップ (時計の値は、時計用の バッテリーが切れたときのみ 07/01/01 00:00:00に 設定されます)	07	
	Clock Adjust		年	01
			月	0
日				
時				
分	秒			
System Menu	Save As Default	-	-	
	SD Format	自動バックアップ	"No Name"	
	Owner Name			
	Version Check	-	-	
	Factory Reset	-	-	
Recording Menu	-	-	-	

ファンクションボタンで設定

パラメーター		バックアップ	工場出荷時/Factory Reset時	
全体	Layer No	Save As Defaultの値	1	
	Block No		1	
	Master Volume		96	
レイヤー	Octave		各Layer 1~16	0
	Loop Point		TOP 各Layer 1~16	1
		END 各Layer 1~16	16	

■ Play menu(プレイメニュー)

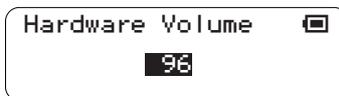
Play menuでは演奏の状態に関する全レイヤー、全ブロックに共通のパラメーターを設定します。
Play menuのサブメニューは以下の8項目です。

1. Hardware Volume(ハードウェアボリューム)	40ページ
2. Master Tempo(マスターテンポ)	40ページ
3. Master Scale(マスタースケール)	41ページ
4. Master Transpose(マスタートランスポーズ)	42ページ
5. Master Loop Speed(マスター ループ スピード)	42ページ
6. Master Loop Point(マスター ループ ポイント)	43ページ
7. Reset Loop Timing(リセット ループ タイミング)	43ページ
8. Mute(ミュート)	44ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. Hardware Volume(ハードウェアボリューム)



機器本体のボリュームを設定します。

- 設定範囲..... 0~127
- デフォルト..... 96
- LED ボタン..... 表示なし

【参照】

- * Layer menu/Volume (→47ページ)

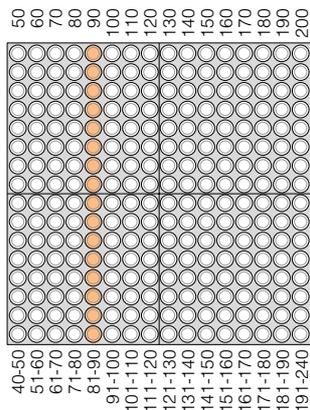
2. Master Tempo(マスターテンポ)



全レイヤー、全ブロックに共通のマスターテンポを設定します。
 [R2]ボタンを押した際にもこのパラメーターの設定画面が表示されます。
 LEDボタンでの設定は下図のように段階的になるので、微調整はジョグダイヤルで行ないます。

- 設定範囲..... 40~240
- デフォルト..... 75
- LED ボタン..... 設定値を以下のように表示します。LEDボタンでの設定も可能です。ただしLEDボタンでの設定は50~200の範囲で10ステップです。

LEDボタンで設定されるテンポ値

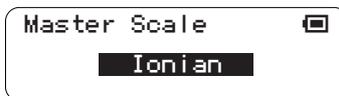


ジョグダイヤルで設定した値の表示位置

【参照】

- * ファンクションボタン [R2] (→29ページ)

3. Master Scale(マスタースケール)



全レイヤー、全ブロックに共通のスケール(音階)を設定します。

- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。
- 設定範囲..... Ionian(イオニアン)、Dorian(ドリアン)、Phrygian(フリジアン)、Lydian(リディアン)、Mixolydian(ミクソリディアン)、Aeolian(エオリアン)、Locrian(ロクリアン)、Chromatic(クロマチック)、OKINAWA(琉球音階)
- デフォルト..... Ionian
- LEDボタン..... 表示なし

各スケールの音名(ノートNo.)の割り当て

Octave = 0, Transpose = 0, Center Note = C3

Ionian	Dorian	Phrygian	Lydian	Mixolydian	Aeolian	Locrian	Chromatic	OKINAWA
D5 (86)	D5 (86)	D ^b 5 (85)	D5 (86)	D5 (86)	D5 (86)	D ^b 5 (85)	D [#] 4/E ^b 4 (75)	C6 (96)
C5 (84)	C5 (84)	C5 (84)	C5 (84)	C5 (84)	C5 (84)	C5 (84)	D4 (74)	B5 (95)
B4 (83)	B ^b 4 (82)	B ^b 4 (83)	B4 (83)	B ^b 4 (82)	B ^b 4 (82)	B ^b 4 (82)	C [#] 4/D ^b 4 (73)	G5 (91)
A4 (81)	A4 (81)	A [#] 4 (80)	A4 (81)	A4 (81)	A [#] 4 (80)	A [#] 4 (80)	C4 (72)	F5 (89)
G4 (79)	G4 (79)	G4 (79)	G4 (79)	G4 (79)	G4 (79)	G [#] 4 (78)	B3 (71)	E5 (88)
F4 (77)	F4 (77)	F4 (77)	F [#] 4 (78)	F4 (77)	F4 (77)	F4 (77)	A [#] 3/B ^b 3 (70)	C5 (84)
E4 (76)	E [#] 4 (75)	E [#] 4 (75)	E4 (76)	E4 (76)	E [#] 4 (75)	E [#] 4 (75)	A3 (69)	B4 (83)
D4 (74)	D4 (74)	D ^b 4 (73)	D4 (74)	D4 (74)	D4 (74)	D ^b 4 (73)	G [#] 3/A ^b 3 (68)	G4 (79)
C4 (72)	C4 (72)	C4 (72)	C4 (72)	C4 (72)	C4 (72)	C4 (72)	G3 (67)	F4 (77)
B3 (71)	B ^b 3 (70)	B ^b 3 (70)	B3 (71)	B ^b 3 (70)	B ^b 3 (70)	B ^b 3 (70)	F [#] 3/G ^b 3 (66)	E4 (76)
A3 (69)	A3 (69)	A [#] 3 (68)	A3 (69)	A3 (69)	A [#] 3 (68)	A [#] 3 (68)	F3 (65)	C4 (72)
G3 (67)	G3 (67)	G3 (67)	G3 (67)	G3 (67)	G3 (67)	G [#] 3 (66)	E3 (64)	B3 (71)
F3 (65)	F3 (65)	F3 (65)	F [#] 3 (66)	F3 (65)	F3 (65)	F3 (65)	D [#] 3/E ^b 3	G3 (67)
E3 (64)	E [#] 3 (63)	E [#] 3 (63)	E3 (64)	E3 (64)	E [#] 3 (63)	E [#] 3 (63)	D3 (62)	F3 (65)
D3 (62)	D3 (62)	D ^b 3 (61)	D3 (62)	D3 (62)	D3 (62)	D ^b 3 (61)	C [#] 3/D ^b 3 (61)	E3 (64)
C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)	C3 (60)

C[#] D[#] F[#] G[#] A[#]
D^b E^b G^b A^b B^b

C D E F G A B C

C D E F G A B C

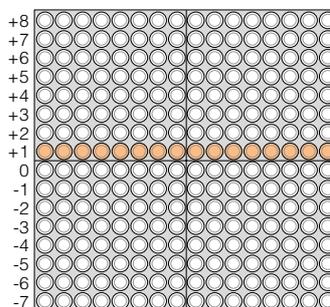
4. Master Transpose(マスタートランスポーズ)



全レイヤー、全ブロックに共通のトランスポーズ(移調)を設定します。
[R3]ボタンを押した際にもこのパラメーターの設定画面が表示されます。

- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。

- 設定範囲..... -7~+8(単位は半音)
- デフォルト..... 0
- LEDボタン..... 設定値を以下のように表示します。LEDボタンでの設定も可能です。

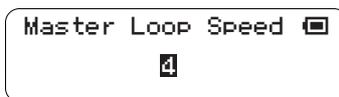


下から8段目のLEDボタンがトランスポーズなし(0)。
1段上に行くごとに+1半音、1段下に行くごとに-1半音トランスポーズされます。

【参照】

- * ファンクションボタン[R3](→30ページ)

5. Master Loop Speed(マスター ループ スピード)



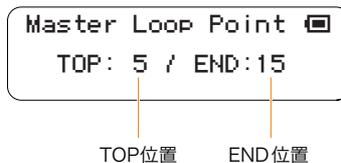
全レイヤー、全ブロックに共通の1拍の速度(再生位置が1列移動する速度)を設定します。

- 設定範囲..... 1(4分音符長)、2(8分音符長)、4(16分音符長)、8(32分音符長)
- デフォルト..... 4
- LEDボタン..... 表示なし

【参照】

- * Layer menu/Loop Speed(→48ページ)

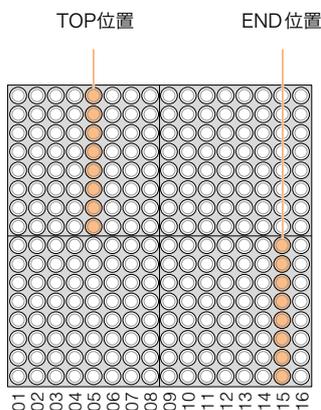
6. Master Loop Point(マスター ループ ポイント)



全レイヤー、全ブロックに共通のループ範囲(開始位置:TOP、終了位置:END)を設定します。
 TOPの位置とENDの位置を含んでループします。
 LEDボタンで設定します。ジョグダイヤルではループ間隔を固定したまま左右に移動します。

- TOP位置をEND位置よりも後ろには設定できません。その場合はTOP位置=END位置となり1拍のループとなります。

- 設定範囲..... TOP=1~16,END=1~16
- デフォルト..... TOP=1,END=16
- LED ボタン..... 以下のように、上段でTOP位置を、下段でEND位置を表示します。
 LEDボタンでTOP位置およびEND位置を設定します。



【参照】

- * ファンクションボタン[L4](→25ページ)

7. Reset Loop Timing(リセット ループ タイミング)



全レイヤー、全ブロックの現在の再生位置をループの開始位置(TOP)に戻します。

- 設定範囲..... OK,CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... 表示なし

8. Mute (ミュート)



ONで出力音をすべてミュートします。

- 設定範囲..... ON、OFF
- デフォルト..... OFF
- LED ボタン..... 表示なし

■ Layer menu(レイヤーメニュー)

レイヤー単位で各種パラメーターを設定します。
Layer menuに入る前に選択されていたレイヤーが設定の対象となります。
Layer menuのサブメニューは以下の6項目です。

1. Instrument(インストゥルメント)	46ページ
2. Volume(ボリューム)	47ページ
3. Loop Speed (ループスピード)	48ページ
4. Sound Length (サウンドレンゲス)	49ページ
5. Panpot(パンポット)	50ページ
6. Animation(アニメーション)	50ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. Instrument(インストゥルメント)



現在選択中のレイヤーで鳴らす音色を設定します。

[L1]ボタンを押した際にもこの画面が表示されます。

音色番号および音色名は「音色リスト」(→108ページ)をご参照ください。

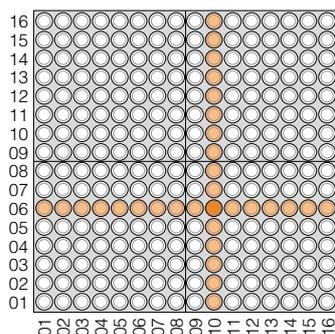
音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>はユーザーボイスです。

- ユーザーボイス以外の音色からユーザーボイスに設定すると、Sound Length(→49ページ)は1000(msec)に設定されます。また、ユーザーボイスからユーザーボイス以外の音色に設定すると、Sound Lengthは100(msec)に設定されます。
- PushモードやSoloモード、Sound Lengthを長くしたノートの発音など、すでに発音中のノートに関しては、設定は反映されません。

■設定範囲..... 縦軸:01~16、横軸:01~16

■デフォルト..... レイヤーにより異なります。

■LEDボタン..... 十字線の交差点で設定値(音色番号)を表示します。LEDボタンでの設定も可能です。

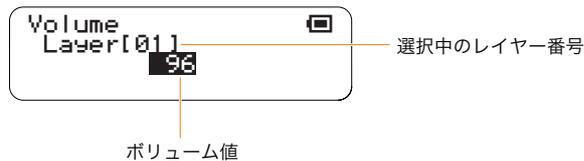


十字線の交差点が選択されている音色番号(この例では06/10)

【参照】

- * ファンクションボタン[L1](→22ページ)、音色リスト(→108ページ)

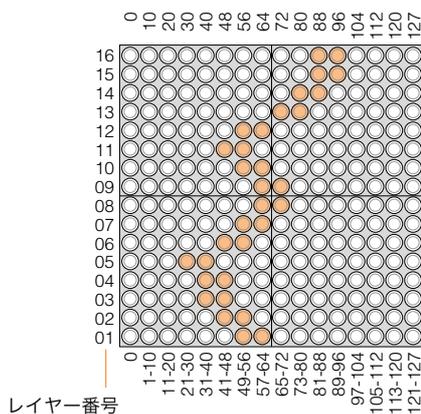
2. Volume(ボリューム)



レイヤーごとの音量を設定(全ブロック共通)します。
 LEDボタン表示およびLEDボタンによる音量設定は、[R4]ボタンを押したときと同様です。
 LEDボタンで全16レイヤーごとの音量を設定できます。
 LEDボタンでの設定は下図のように段階的になるので、微調整はジョグダイヤルを使って±1単位で行ないます。

- 設定範囲..... 0~127
- デフォルト..... 96(全レイヤー)
- LEDボタン..... 縦軸でレイヤー1~16を、横軸で音量を表示します(下図参照)。
 LEDボタンで任意のレイヤーの音量を設定します。

LEDボタンで設定されるボリューム値

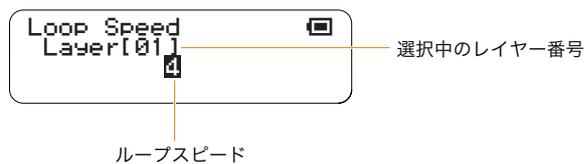


LEDボタンで表示されるボリューム値

【参照】

* ファンクションボタン [R4] (→31ページ)

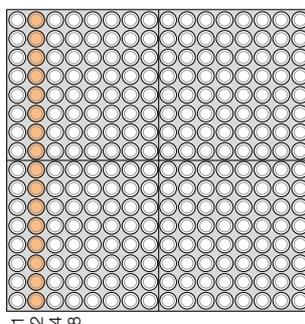
3. Loop Speed (ループスピード)



1 拍の速度 (ループインジケータの移動速度) を設定します。
 [L5] ボタンを押した際にもこの画面が表示されます。

● Play menuのMaster Loop Speed (全レイヤー設定) を変更すると、この設定も書き換えられます。

- 設定範囲 1 (4分音符長)、2 (8分音符長)、4 (16分音符長)、8 (32分音符長)
- デフォルト 4 (レイヤー14は8)
- LED ボタン 左から4列がそれぞれ設定値の1、2、4、8に対応していますので、該当するLEDボタンを押して設定します。それ以外のLEDボタンを押しても無効です。



設定値を縦軸の点灯で表示

【参照】

* Play menu/Master Loop Speed (→42ページ)、ファンクションボタン[L5] (→27ページ)

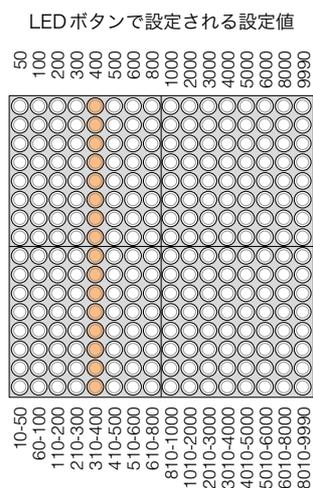
4. Sound Length(サウンドレングス)



ノートの発音時間(ゲートタイム)を設定します。
 現在選択中のレイヤーのすべてのノートに共通の設定です。
 LEDボタンでの設定は下図のように段階的になるので、微調整はジョグダイヤルを使って±10msec単位で行ない
 ます。
 [L2]ボタンを押した際にもこの画面が表示されます。

- 音色によっては、Sound lengthを短くしても効果がなかったり、Sound Lengthを変更することで音色がばらつくことがあります。また、ユーザーボイスに対しては0.97秒以上に設定しても効果は変わりません。

- 設定範囲..... 10msec~9990msec
- デフォルト..... 100msec(全レイヤー)
- LEDボタン..... 設定値を以下のように表示します。LEDボタンでの設定も可能です。

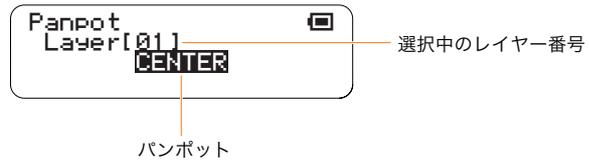


ジョグダイヤルで設定した値の表示位置

【参照】

- * ファンクションボタン [L2] (→23ページ)

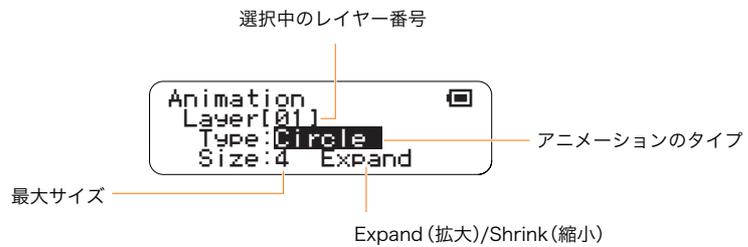
5. Panpot(パンポット)



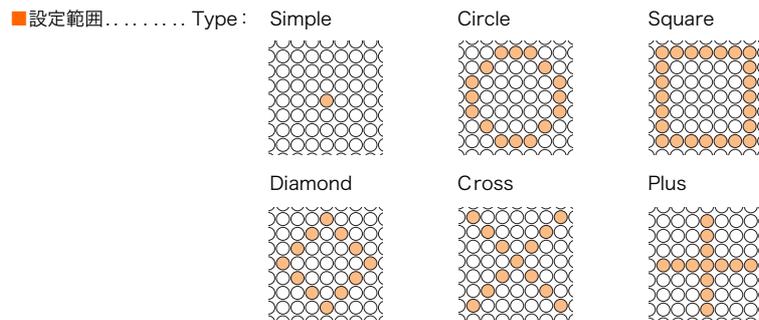
現在選択中のレイヤーのパンポット(ステレオ定位)を設定します。

- 設定範囲..... L64~L01、CENTER、R01~R63
- デフォルト..... CENTER(全レイヤー)
- LEDボタン..... 表示なし

6. Animation(アニメーション)



発音時のLEDボタンの発光アニメーションのタイプ、拡大/縮小の選択とその最大サイズを設定します。ジョグダイヤル操作で現在選択中のレイヤーに対して設定します。



Size: 1~22(拡大/縮小時の最大サイズ)、Expand (拡大)/Shrink (縮小)

- デフォルト..... レイヤーによって異なります。
- LEDボタン..... 表示なし

■ Edit menu(エディットメニュー)

Edit menuでは、コピー、クリア、リセットなどのデータ編集を行ないます。
Edit menuのサブメニューは以下の6項目です。

1. Copy this Block(コピー ディス ブロック)	52ページ
2. Clear this Block(クリア ディス ブロック)	52ページ
3. Copy this Layer(コピー ディス レイヤー)	53ページ
4. Clear this Layer(クリア ディス レイヤー)	54ページ
5. Clear All Blocks(クリア オール ブロック)	54ページ
6. Reset All Blocks(リセット オール ブロック)	54ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



Undo(アンドゥー)機能

Edit menuでは、各画面でコピー/クリア/リセットを実行([OK]ボタンを押す)すると、以下のUndo画面が表示されます。Undoを実行すると、コピー/クリア/リセットを実行する前の状態に戻すことができます。
Undo画面で[OK]ボタンを押すと、Undoが実行されます。



以下の操作をした場合、Undoはキャンセルされます。

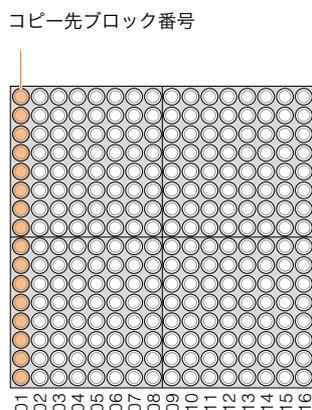
- ・LEDボタンを押した場合
- ・[CANCEL]、[CLEAR]およびファンクションボタンを押した場合
- ・UNDO画面が表示されてから、15秒以上何も操作されずにタイムアウトした場合
 - Undo画面は、発音ポイントをクリアするために[CLEAR]ボタンを押した場合(短押し/長押しいずれも)には表示されません。

1. Copy this Block(コピー ディス ブロック)



現在選択中のブロックの、全レイヤーの発音ポイントを別のブロックにコピーします。
 コピー先のブロック番号を指定したら、[OK]ボタンを押して実行します。
 キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します。

- 設定範囲..... 1~16
- LEDボタン..... コピー先のブロック番号を以下のように表示します。
 LEDボタンでコピー先ブロック番号を指定することもできます。



2. Clear this Block(クリア ディス ブロック)

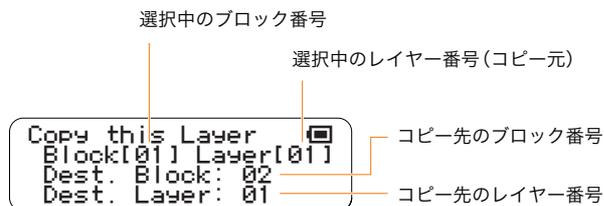


現在選択中のブロックの、全レイヤーの発音ポイントを消去します。
 実行する場合は、ジョグダイヤルを回して“OK”を表示させたあと、[OK]ボタンを押します。
 キャンセルする場合は、[CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルを回して“CANCEL”を表示させたあと、[OK]ボタンを押します。

- この機能では発音ポイントがクリアされるだけで、Randomモードの回転の情報は残りますのでご注意ください。回転実行中は、LEDボタンによる発音ポイントの入力や削除はできません。回転を止める操作についてはRotation(→26ページ)をご覧ください。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LEDボタン..... クリア実行時にアニメーションを表示

3. Copy this Layer(コピー ディス レイヤー)



現在選択中のブロックの、現在選択中のレイヤーの発音ポイントを、別のブロックのレイヤーにコピーします。ただし、異なるモード間でのコピーはできません。

例)

レイヤー1(Scoreモード)からレイヤー7(Scoreモード)へのコピーは可。

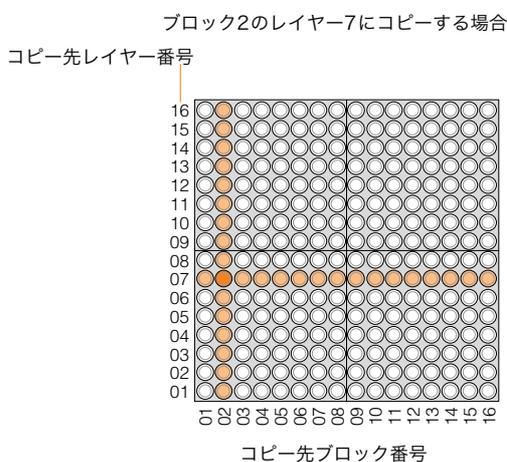
レイヤー1(Scoreモード)からレイヤー8(Randomモード)へのコピーは不可。

LEDボタンで、コピー先のブロック番号、レイヤー番号を指定します(ブロック番号はジョグダイヤルでも設定可能)。

コピー先のブロック番号、レイヤー番号を指定したら、[OK]ボタンを押して実行します。キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します。

- コピー先に演奏モードの異なるレイヤーを指定した場合は、“Mode different. Can't Copy!”と表示されます。[OK]、[CANCEL]いずれかのボタンを押すとEdit menuのトップ画面に戻ります。

- 設定範囲..... Dest. Block:1~16 ,Dest. Layer: 1~16
- デフォルト..... 現在選択中のブロック番号/レイヤー番号
- LEDボタン..... 横軸がブロック番号、縦軸がレイヤー番号を表しています。十字線の交差点がコピー先のブロック番号&レイヤー番号です。



4. Clear this Layer(クリア ディス レイヤー)



現在選択中のブロックの、現在選択中のレイヤーの発音ポイントを消去します。この機能は [CLEAR] ボタンの短押しと同じです。

実行する場合は、ジョグダイヤルを回して“OK”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

キャンセルする場合は、[CANCEL] ボタンを押すか、ジョグダイヤルを回して“CANCEL”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

- この機能では発音ポイントがクリアされるだけで、Randomモードの回転の情報は残りますのでご注意ください。回転実行中は、LEDボタンによる発音ポイントの入力や削除はできません。回転を止める操作についてはRotation(→26ページ)をご覧ください。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... クリア実行時にアニメーションを表示

5. Clear All Blocks(クリア オール ブロック)



全ブロックの、全レイヤーの発音ポイントを消去します。

この機能は [CLEAR] ボタンの長押しと同じです。

実行する場合は、ジョグダイヤルを回して“OK”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

キャンセルする場合は、[CANCEL] ボタンを押すか、ジョグダイヤルを回して“CANCEL”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... クリア実行時にアニメーションを表示

6. Reset All Blocks(リセット オール ブロック)



全ブロックの、全レイヤーの発音ポイントを消去し設定情報を初期化します。

実行する場合は、ジョグダイヤルを回して“OK”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

キャンセルする場合は、[CANCEL] ボタンを押すか、ジョグダイヤルを回して“CANCEL”を表示させたあと、[OK] ボタンを押します。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... リセット実行時にアニメーションを表示

■ Preference menu(プリファレンスメニュー)

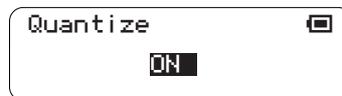
TENORI-ONの動作仕様に関する初期設定をします。
Preference menuのサブメニューは以下の6項目です。

1. Quantize(クオンタイズ)	56ページ
2. Push Sensitivity(プッシュセンシティビティ)	56ページ
3. Master Tuning(マスターチューニング)	56ページ
4. Local Control(ローカルコントロール)	57ページ
5. Synchronize(シンクロナイズ)	57ページ
6. Loop Indicator(ループインジケーター)	57ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. Quantize(クオンタイズ)



レイヤー16(Soloモード)に関する設定をします。
ONにすると、Soloモードの繰り返し音の発音がScoreモード(レイヤー1~7)の発音タイミングに同期します。

- 設定範囲..... ON,OFF
- デフォルト..... ON
- LEDボタン..... 表示なし

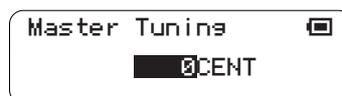
2. Push Sensitivity(プッシュセンシティビティ)



LEDボタンの長押し判定時間を設定します。
設定した時間より長くLEDボタンが押されたときに、TENORI-ONは長押しされたと判定します。

- 設定範囲..... 50~500(msec)
- デフォルト..... 120(msec)
- LEDボタン..... 表示なし

3. Master Tuning(マスターチューニング)



音色のマスターチューニングを設定します。

- 設定範囲..... -100~+100(CENT)
- デフォルト..... 0(CENT)
- LEDボタン..... 表示なし

4. Local Control (ローカルコントロール)



TENORI-ONの演奏情報を内部音源 (ユーザーボイス含む) に送る (ON)か送らない (OFF)かを設定します。
 “OFF”に設定した場合、内蔵スピーカーおよびヘッドフォン端子から音は出ませんが、MIDI端子には演奏情報 (MIDI信号)は出力されます。また“OFF”に設定した場合、LEDボタン操作時 (入力、消去)の発音もしません。

- 設定範囲..... ON,OFF
- デフォルト..... ON
- LEDボタン..... 表示なし

5. Synchronize (シンクロナイズ)

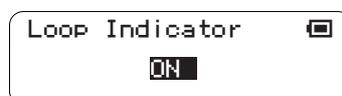


複数台のTENORI-ONをMIDI接続して同期演奏する際の、マスター側機器 /スレーブ側機器の設定をします。
 マスター側機器のクロック情報に従って、スレーブ側機器は動作します。Slaveモードに設定した場合、MasterのTENORI-ONと正しく接続されていないと、Slave側は動作しません。

- 同期演奏する場合、極力Slave側の演奏データを作成した際のテンポに近いテンポでMaster側を再生してください。極端に異なるテンポで再生すると、Slave側の演奏データが正しく再生されない場合があります。

- 設定範囲..... MASTER, SLAVE
- デフォルト..... MASTER
- LEDボタン..... 表示なし

6. Loop Indicator (ループインジケーター)



Scoreモードにおいて、ループインジケーターを表示させる (ON)か表示させない (OFF)かの設定をします。
 全Scoreモード (レイヤー1~7)に共通の設定です。

- 設定範囲..... ON,OFF
- デフォルト..... ON
- LEDボタン..... ループインジケーター

■ File menu (ファイルメニュー)

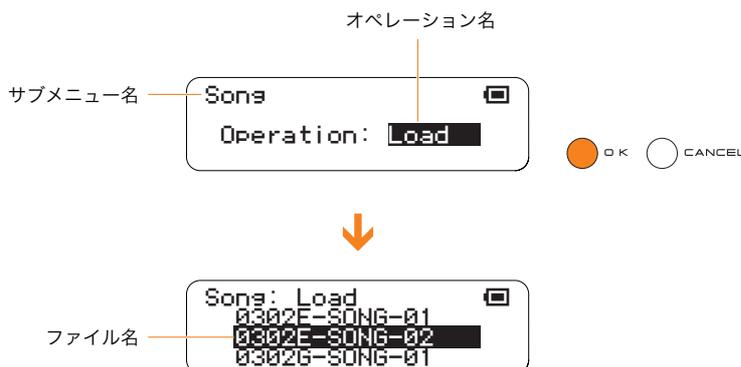
SDカードへのファイルのセーブ、外部サンプリングファイルのロードなど、ファイルを扱うメニューです。ファイルメニューのサブメニューは以下の6項目です。

1. Song(ソング)	60ページ
2. All Blocks(オールブロック)	64ページ
3. Current Block(カレントブロック)	68ページ
4. Current Layer(カレントレイヤー)	72ページ
5. All Settings(オールセッティング)	76ページ
6. Samplings(サンプリング)	80ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押してサブメニューを表示させます。



File menuでは、上記6つのサブメニューの下にそれぞれ3~5画面のオペレーションがあります。サブメニュー選択後、ジョグダイヤルで目的のオペレーション名を反転表示させ、[OK]ボタンを押してオペレーションを表示させます。



- TENORI-ONで表示できるファイル名は、ASCII文字列のみ、拡張子を除いた最大16文字までです。2バイトコードは表示できません。

ファイル操作でSDメモリーカードに保存されたファイルは、SDメモリーカード内に自動的につくられる「TENORI-ONフォルダー」に入ります。TENORI-ONフォルダー内で扱えるファイルの最大数は1000個までです。また、同じ拡張子のファイルは、最大で256個までしか扱えません。

SDメモリーカードにアクセスした際に表示されるエラーメッセージについては、『ディスプレイメッセージ一覧』(→101ページ)をご参照ください。

! SDメモリーカードをご使用前に、「SDメモリーカードの取り扱いについて (59ページ)」をお読みください。

SDメモリーカードの取り扱いについて

* SDメモリーカードはSD Card Associationの商標です。

この楽器にはSDメモリーカード用のカードスロット(挿入口)が装備されています。カードスロットにSDメモリーカードを挿入すると、本体で作ったデータをSDメモリーカードに保存したり、SDメモリーカード内のデータを本体に読み込んだりできます。SDメモリーカードをご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

使用できるSDメモリーカードの種類

- メモリー容量が2GB以下のSDメモリーカード。
- この楽器は、SDIOカードおよびSDHCカードには対応していません。

* アクセス中:

セーブやロード、フォーマット、デリートなどの作業中を指します。また、電源が入っている状態でSDメモリーカードを挿入したときも、楽器本体がSDメモリーカードの中のファイルを確認するために自動的にアクセス中になります。

⊘ **アクセス中にSDメモリーカードを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。SDメモリーカードがこわれたり、楽器本体/SDメモリーカードのデータがこわれたりするおそれがあります。**

SDメモリーカードのフォーマット

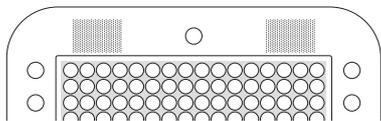
- 新しいSDメモリーカードや他の機器で使っていたSDメモリーカードは、そのままでは使えない場合があります。この機器のカードスロットに入れてもSDメモリーカードが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は97ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとSDメモリーカード内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

NOTE この機器でフォーマットしたSDメモリーカードは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

SDメモリーカードの挿入/取り出し

SDメモリーカードの挿入

- SDメモリーカードの端子部(金色)を下側にして、カードスロット(挿入口)にカチッと音がするまで差し込みます。



- SDメモリーカードの向き(上下、前後)を間違えないようご注意ください。
- カードスロットにゴミや異物が入らないようご注意ください。誤動作や故障の原因となります。

SDメモリーカードの取り出し

- あらかじめ楽器本体がSDメモリーカードにアクセス中*でないことを確認した上で、カードをカチッと音がするまで押し込み、指を離します。SDメモリーカードが押し出されるので、カードを取り出して(引き抜いて)ください。SDメモリーカードが途中で引っかかり取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとせず、もういちど挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

SDメモリーカードについてのご注意

SDメモリーカードの取り扱いと保管

- 静電気によってSDメモリーカードのデータが失われる場合があります。SDメモリーカードに触れるときは、あらかじめ身近な金属(アルミサッシや金属のドアノブなど)に触れて静電気を取り除いてください。
- 長時間使用しないときは、SDメモリーカードを挿入口から取り出して、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストロブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- 落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- SDメモリーカードの端子部(金色)に直接触れたり金属を当てたりしないでください。
- 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。

誤消去防止

- SDメモリーカードには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトスイッチ(書き込み禁止スイッチ)が付いています。大切なデータが入っているSDメモリーカードは、ライトプロテクトスイッチをLockにして、書き込みができないようにしてください。逆に、セーブする場合は、ご使用前にSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが解除の位置にあることをご確認ください。

データのバックアップ

- SDメモリーカードの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のSDメモリーカードに保存しておかれることをおすすめします。

1. Song (ソング)

Song ファイルに関する操作を行いません。

Song ファイルとは、TENORI-ONのレコーディング操作(→99ページ)によって生成されたデータファイルです。全レイヤー、全ブロックの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)がすべて記録されています。このうち、パネルのボタンとジョグダイヤルの操作は時間経過に伴って記録されます。このファイルをTENORI-ONにロードし再生すると、レコーディングした演奏情報(いつ、どのLEDボタンを押し、ファンクションボタンで設定を変更したかなど)がすべて再現されます。

Song ファイルに関するオペレーションは以下の3つです。

Load Song (ロードソング)	60ページ
Rename Song (リネームソング)	61ページ
Delete Song (デリートソング)	63ページ

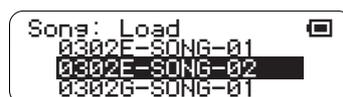
●Load Song (ロードソング)

SDメモリーカードに保存されているSong ファイルをTENORI-ONにロード(読み込み)します。

- 1 ロードしたいSong ファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “Song”



- 3 Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
- 4 SDメモリーカード内のSong ファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。

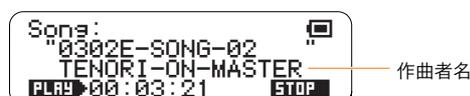


- Songファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
ロード実行中は以下の画面が表示されます。
ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- 6 ロードが終了すると以下の画面が表示され、ロードしたSongファイルが再生されます。
[OK]ボタンを押すと、再生を停止できます。



- 3行目に表示される作曲者名は、ロードしたSongファイルを作成したTENORI-ONに登録されているオーナーネームです。(→97ページ)

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

●Rename Song(リネームソング)

SDメモリーカードに保存されているSongファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

- 1 リネームしたいSongファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Song”



- 3 Operationに“Rename”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のSongファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。

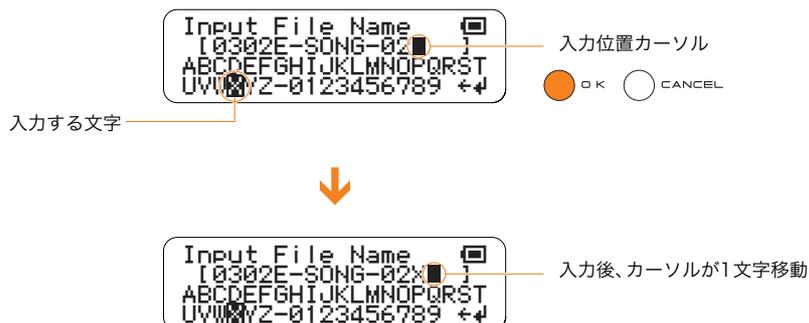


● Songファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のSongファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。



液晶ディスプレイ2行目のファイル名に表示されるカーソル(■)が入力位置となります。ジョグダイヤルを使って液晶ディスプレイ3-4行目に表示される文字列から文字を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押して文字を入力します。文字が入力されると入力位置カーソルが1文字分右へ移動します。カーソルは入力した文字の右横にしか表示されませんので、途中の文字を変更したい場合は、変更したい文字まで削除し、そこから入力直してください。文字を削除するには、ジョグダイヤルを使って液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“*”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを何度か押してください。設定できるファイル名は半角英数字と“-”(ハイフン)のみ、拡張子を除いた最大16文字までです。拡張子は自動的に付けられます。

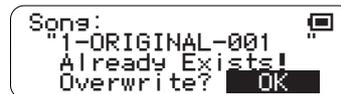


ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

- 6 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを使って液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“**↵**”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

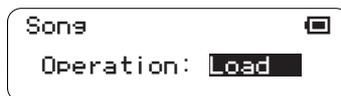
- 7 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

●Delete Song(デリートソング)

SDメモリーカードに保存されているSongファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいSongファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Song”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。

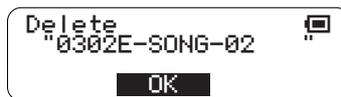


- 4 SDメモリーカード内のSongファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



- Songファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

2. All Blocks(オールブロック)

ファイルタイプがAll Blocksのファイルに関する操作を行ないます。

All Blocksファイルとは、TENORI-ONに現在設定されている全レイヤー、全ブロックの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を持ったファイルです。

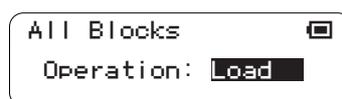
All Blocksファイルに関するオペレーションは以下の4つです。

Load All Blocks(ロード オール ブロック)	64ページ
Save All Blocks(セーブ オール ブロック)	65ページ
Rename All Blocks(リネーム オール ブロック)	66ページ
Delete All Blocks(デリート オール ブロック)	67ページ

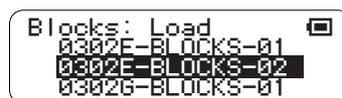
●Load All Blocks(ロード オール ブロック)

SDメモリーカードに保存されているAll BlocksファイルをTENORI-ONにロード(読み込み)します。

- ロードしたいAll Blocksファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “All Blocks”

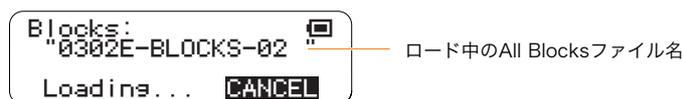


- Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
- SDメモリーカード内のAll Blocksファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。



- All Blocksファイル形式以外のファイルは表示されません。

- [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
ロード実行中は以下の画面が表示されます。
ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



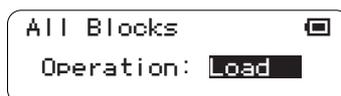
- ロードが終了すると手順2の画面に戻り、ロードしたAll Blocksファイルが再生されます。
ステータス画面に戻って[OK]ボタンを押すと、再生を停止できます。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Save All Blocks(セーブ オール ブロック)

TENORI-ONに現在設定されている全レイヤー、全ブロックの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を、All BlocksタイプのファイルでSDメモリーカードにセーブ(保存)します。

- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “All Blocks”



- 3 Operationに“Save”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



セーブするファイル名の入力画面が表示されます。仮のファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。

設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。

- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。

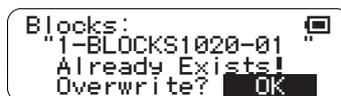


- 4 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。



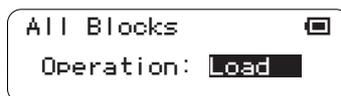
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 5 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Rename All Blocks(リネーム オール ブロック)

SDメモリーカードに保存されているAll Blocksファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

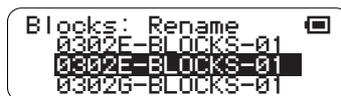
- 1 リネームしたいAll Blocksファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “All Blocks”



- 3 Operationに“Rename”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のAll Blocksファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。



- All Blocksファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のAll Blocksファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。

- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。

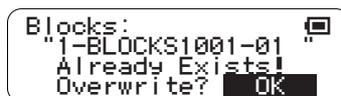


- 6 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“⏏”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。

液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 7 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

●Delete All Blocks(デリート オール ブロック)

SDメモリーカードに保存されているAll Blocksファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいAll Blocksファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“All Blocks”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のAll Blocksファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



- All Blocksファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

3. Current Block(カレントブロック)

ファイルタイプがCurrent Blockのファイルに関する操作を行ないます。

Current Blockファイルとは、TENORI-ONで現在選択中のブロックの全レイヤーに設定されている演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を持ったファイルです。

Current Blockファイルに関するオペレーションは以下の4つです。

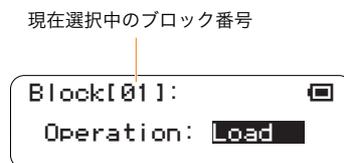
Load Current Block(ロードカレントブロック)	68ページ
Save Current Block(セーブカレントブロック)	69ページ
Rename Current Block(リネームカレントブロック)	70ページ
Delete Current Block(デリートカレントブロック)	71ページ

●Load Current Block(ロード カレント ブロック)

SDメモリーカードに保存されているCurrent BlockファイルをTENORI-ONの現在選択中のブロックにロード(読み込み)します。

! ロードすると、ほかのブロックのレイヤー設定情報も、ロードしたファイルの内容に書き換えられます。

- 1 あらかじめTENORI-ON側のCurrent Blockファイルのロード先ブロックを選択しておきます。
(→ファンクションボタン[R5]:32ページ)
- 2 ロードしたいCurrent Blockファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 3 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Current Block”



- 4 Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
- 5 SDメモリーカード内のCurrent Blockファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。



● Current Blockファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 6 [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
ロード実行中は以下の画面が表示されます。
ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



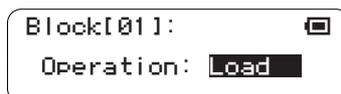
- 7 ロードが終了すると手順3の画面に戻り、ロードしたCurrent Blockファイルが再生されます。
ステータス画面に戻って[OK]ボタンを押すと、再生を停止できます。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Save Current Block (セーブ カレント ブロック)

TENORI-ONで現在選択中のブロックの全レイヤーの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を、Current BlockタイプのファイルでSDメモリーカードにセーブ(保存)します。

- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “Current Block”



- 3 Operationに“Save”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 セーブするファイル名の入力画面が表示されます。仮のファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。

- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。

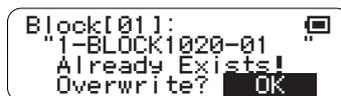


- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。



- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

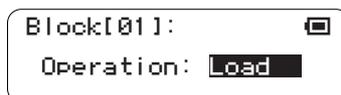
- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

●Rename Current Block (リネーム カレント ブロック)

SDメモリーカードに保存されているCurrent Blockファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

- 1 リネームしたいCurrent Blockファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “Current Block”



- 3 Operationに“Rename”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のCurrent Block ファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。



- Current Blockファイル形式以外のファイルは表示されません。

[OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のCurrent Blockファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。

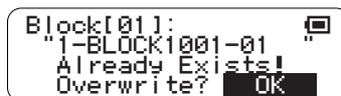
- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

- ⊗ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



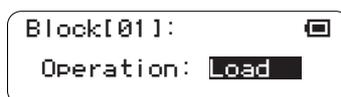
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Delete Current Block(デリート カレント ブロック)

SDメモリーカードに保存されているCurrent Blockファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいCurrent Blockファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Current Block”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のCurrent Blockファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



- Current Blockファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

4. Current Layer (カレントレイヤー)

ファイルタイプがCurrent Layerのファイルに関する操作を行ないます。
 Current Layer ファイルとは、TENORI-ONで現在選択中のブロックの現在選択中のレイヤーに設定されている演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を持ったファイルです。
 Current Layer ファイルに関するオペレーションは以下の4つです。

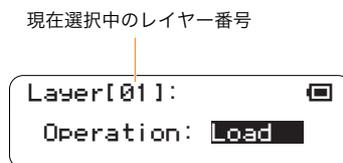
Load Current Layer(ロード カレント レイヤー)	72ページ
Save Current Layer(セーブ カレント レイヤー)	73ページ
Rename Current Layer(リネーム カレント レイヤー)	74ページ
Delete Current Layer(デリート カレント レイヤー)	75ページ

●Load Current Layer(ロード カレント レイヤー)

SDメモリーカードに保存されているCurrent LayerファイルをTENORI-ONの現在選択中のレイヤーにロード(読み込み)します。

! ロードすると、ほかのブロックの同一レイヤー設定情報も、ロードしたファイルの内容に書き換えられます。

- 1 あらかじめTENORI-ON側のCurrent Layerファイルのロード先レイヤーを選択しておきます。(→ファンクションボタン[R1] Layer No. (レイヤーナンバー):28ページ)
- 2 ロードしたいCurrent Layerファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 3 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
 “Main menu” → “File menu” → “Current Layer”



- 4 Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
- 5 SDメモリーカード内のCurrent Layerファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。



● Current Layer ファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 6 [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
 ロード実行中は以下の画面が表示されます。
 ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



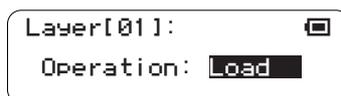
- 7 ロードが終了すると手順3の画面に戻り、ロードしたCurrent Layerファイルが再生されます。
 ステータス画面に戻って[OK]ボタンを押すと、再生を停止できます。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Save Current Layer (セーブ カレント レイヤー)

TENORI-ONで現在選択中のブロックの現在選択中のレイヤーの演奏情報(発音ポイントの位置情報)および設定情報(音色、テンポなど)を、Current LayerタイプのファイルでSDメモリーカードにセーブ(保存)します。

- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “Current Layer”



- 3 Operationに“Save”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



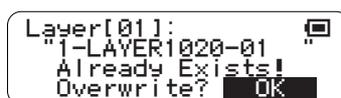
- 4 セーブするファイル名の入力画面が表示されます。仮のファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。
 - 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“⏏”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- ⊗ ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。
 - SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。

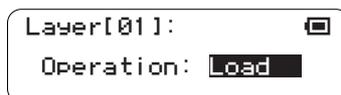


- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。
- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Rename Current Layer(リネーム カレント レイヤー)

SDメモリーカードに保存されているCurrent Layerファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

- 1 リネームしたいCurrent Layerファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “Current Layer”



- 3 Operationに“Rename”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のCurrent Layerファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。



- Current Layer ファイル形式以外のファイルは表示されません。

[OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のCurrent Layerファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。

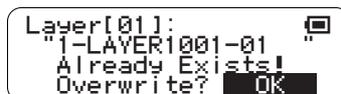
- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

- ⊘ **ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。**

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



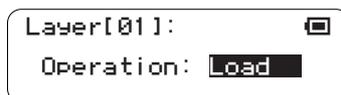
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Delete Current Layer(デリート カレント レイヤー)

SDメモリーカードに保存されているCurrent layerファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいCurrent Layerファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “Current Layer”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のCurrent Layerファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



● Current layerファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

5. All Settings(オールセッティング)

ファイルタイプがAll Settingsのファイルに関する操作を行ないます。

All Settingsファイルとは、TENORI-ONに現在設定されている全レイヤー、全ブロックの『発音ポイントの位置情報』以外の設定情報(音色、テンポなど)を持ったファイルです。

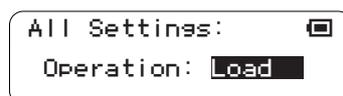
All Settingsファイルに関するオペレーションは以下の4つです。

Load All Settings(ロード オール セッティング)	76ページ
Save All Settings(セーブ オール セッティング)	77ページ
Rename All Settings(リネーム オール セッティング)	78ページ
Delete All Settings(デリート オール セッティング)	79ページ

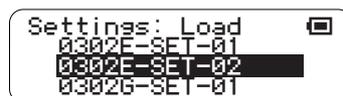
●Load All Settings(ロード オール セッティング)

SDメモリーカードに保存されているAll SettingsファイルをTENORI-ONの全ブロック、全レイヤーにロード(読み込み)します。

- 1 ロードしたいAll Settingsファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “All Settings”

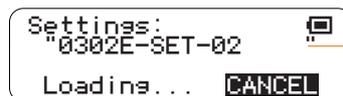


- 3 Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
- 4 SDメモリーカード内のAll Settingsファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。



- All Settingsファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
ロード実行中は以下の画面が表示されます。
ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



ロード中のAll Settingsファイル名

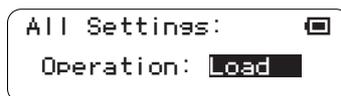
- 6 ロードが終了すると手順2の画面に戻り、ロード操作前の演奏情報(発音ポイントの位置情報)が、ロードしたAll Settingsファイルの設定情報で再生されます。
ステータス画面に戻って[OK]ボタンを押すと、再生を停止できます。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Save All Settings(セーブ オール セッティング)

TENORI-ONに現在設定されている全レイヤー、全ブロックの『発音ポイントの位置情報』以外の設定情報(音色、テンポなど)を、All SettingsタイプのファイルでSDメモリーカードにセーブ(保存)します。

- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “All Settings”



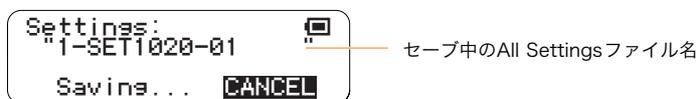
- 3 Operationに“Save”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



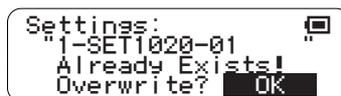
- 4 セーブするファイル名の入力画面が表示されます。仮のファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。
 - 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“⏪”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- ⊗ ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。
 - SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。

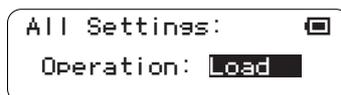


- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。
- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Rename All Settings(リネーム オール セッティング)

SDメモリーカードに保存されているAll Settingsファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

- 1 リネームしたいAll Settingsファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “All Settings”



- 3 Operationに“Rename”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のAll Settingsファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。



- All Settingsファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のAll Settingsファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song(リネームソング)と同様です。

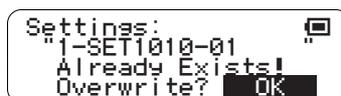
- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



- 6 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



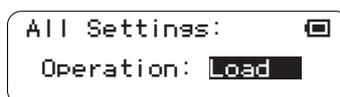
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 7 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Delete All Settings(デリート オール セッティング)

SDメモリーカードに保存されているAll Settingsファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいAll Settingsファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→ “File menu”→ “All Settings”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のAll Settingsファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



- All Settings ファイル形式以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

6. Samplings(サンプリング)

ファイルタイプがSamplingのファイルに関する操作を行いません。

TENORI-ONでは、ユーザーボイスとして音色番号が3音色分用意されています。ここにサンプリング音をロードして使用することができます。

ロードできるファイル形式(.tnw)への変換は付属CD-ROMの“TENORI-ON User Voice Manager”で行ないます。このメニューで扱うSamplingファイルとはこのファイル形式(.tnw)のサンプリングファイルを指します。

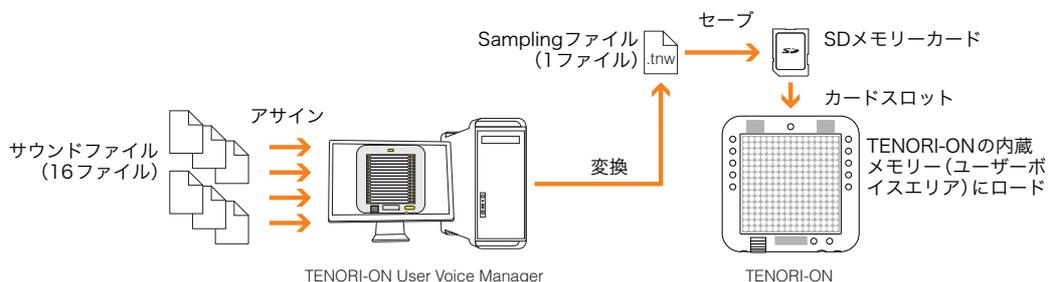
Samplingファイルに関するオペレーションは以下の5つです。

Load Samplings(ロードサンプリング)	83ページ
Save Samplings(セーブサンプリング)	84ページ
Rename Samplings(リネームサンプリング)	85ページ
Delete Samplings(デリートサンプリング)	87ページ
Samplings Info(サンプリング インフォメーション)	88ページ

■ ユーザーボイス(Samplingsファイル)の作り方

パソコンで録音したりインターネットからダウンロードしたオーディオファイル(サンプリングファイル)をTENORI-ONで使うためには、TENORI-ONのユーザーボイス専用のファイル形式を持ったファイル(Samplingsファイルと呼びます。拡張子は.tnw)を作成する必要があります。

付属CD-ROMのソフトウェア“TENORI-ON User Voice Manager”を使って、オーディオファイルのアサイン(割り当て)とSamplingsファイルへの変換を行ないます。できたSamplingsファイルは、SDメモリーカード経由でTENORI-ON本体のユーザーボイスエリアにロード(保存)して使います。



1 オーディオファイル(サンプリングファイル)を用意します。

市販のサンプリングCDや、インターネットからダウンロード、もちろん自分で録音したものでかまいません。ファイル形式は、WAVEフォーマットまたはAIFFフォーマットを用意します。

サポート可能なオーディオデータフォーマットは以下の通りです。

22.05kHz/24kHz/44.1kHz/48kHz、8bit/16bit、stereo/mono

- monoファイルはL、Rに同じデータを出力するファイルに変換されます。
- 1ユーザーボイスにつき16音(LEDボタン16個分)をアサイン可能。つまり同一楽器音の場合16音階の表現が可能です。TENORI-ONでのユーザーボイス(オーディオファイル)の使い方としては、以下の2通りがあります。
 1. 効果音やフレーズ、ドラムやパーカッションの1ショットなどを個々のLEDボタンにアサインして鳴らす。
 2. オーディオファイルに16種類の音階を設定し、内蔵MIDI音源のように音階順にLEDボタンにアサインして鳴らす。

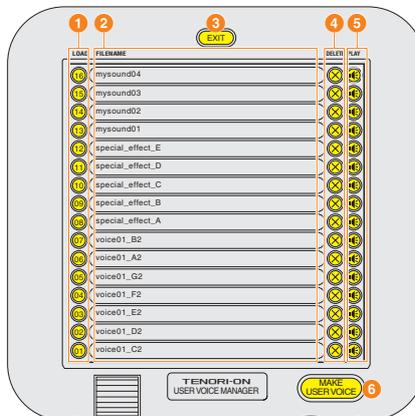
使い方に合ったオーディオファイルをご用意ください。

2 ソフトウェア“TENORI-ON User Voice Manager”を起動します。

ユーザーボイスへの16音のアサインおよびTENORI-ON専用のSampling形式ファイルへの変換は、付属CD-ROM内のソフトウェア“TENORI-ON User Voice Manager”で行ないます。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

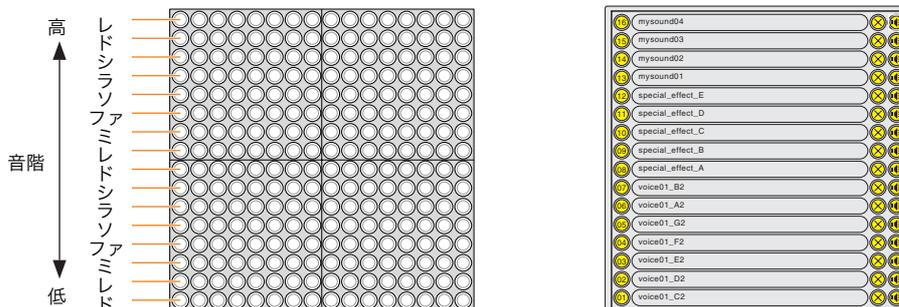
- 2-1 別紙『TENORI-ON User Voice Manager』インストールガイドに従って、付属CD-ROMから“TENORI-ON User Voice Manager”をパソコンにインストールしてください。
- 2-2 パソコン画面上で“TNR_UserVoiceMgr.exe”または“TNR_UserVoiceMgr.app”をダブルクリックし、起動します。“TENORI-ON User Voice Manager”の操作画面(下図)が表示されます。



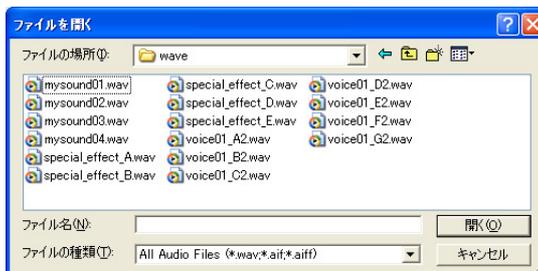
- 1 [LOAD]ボタン
- 2 ファイル名表示
- 3 [EXIT]ボタン
- 4 [DELETE]ボタン
- 5 [PLAY]ボタン
- 6 [MAKE USER VOICE]ボタン

表示される画面は、TENORI-ONを Scoreモードで使用した際のLEDボタンの配置をイメージしたものです。画面上の[LOAD]ボタン(01～16)は、TENORI-ON本体の同位置のLEDボタンに対応します。

- TENORI-ONの工場出荷時の設定では、縦軸にピアノの白鍵にあたる全音階が下図のように割り当てられています。各[LOAD]ボタンに下図の音階のオーディオファイルをアサインすれば、内蔵の楽器音と同じスケールで演奏することができます。



- 3 オーディオファイル(サンプリングファイル)を読み込みます。
[LOAD]ボタンをクリックすると、オーディオファイル読み込み用のダイアログボックスが表示されます。アサインしたいオーディオファイルを選択します。サンプリングファイルとして使われるのは、WAVEあるいはAIFFファイルの先頭から0.97秒までです。アサインされたオーディオファイル名は[LOAD]ボタン右に表示されます(拡張子は表示されません)。



- オーディオファイルアイコンを、目的の[LOAD]ボタンにドラッグ&ドロップすることでもアサインできます。
- [LOAD]ボタン01～16は、MIDIのNote No.60～75に相当します。Note No.60～75以外には、16音単位でNote No.60～75のアサインが繰り返されます。
- オーディオファイルがアサインされていない箇所は、TENORI-ONのLEDボタンを押した際に何も発音しません。

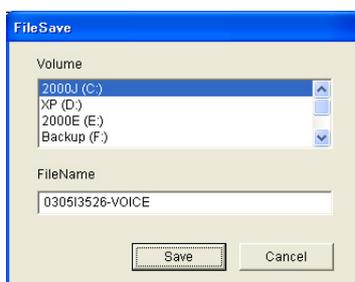
ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

[PLAY]ボタンをクリックすると、アサインされたオーディオファイルを再生することができます。
[DELETE]ボタンをクリックすると、アサインしたオーディオファイルを削除(アサインを取り消し)することができます。

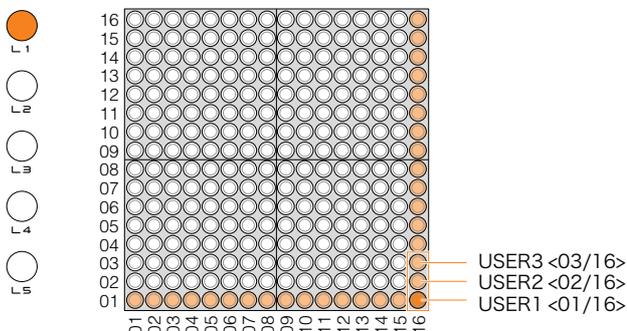
4 TENORI-ON専用のファイル形式(ファイルタイプ=Sampling)で保存します。
アサインが完了したら、できたファイルセット(アサインした16ファイル=1セット)をTENORI-ON専用のファイル形式の1ファイルに変換してSDメモリーカードに保存します。

- 市販のSDメモリーカード(2GB以下)を用意し、あらかじめTENORI-ONでフォーマットしておいてください。フォーマットの方法は97ページ: "Main menu" → "System menu" → "SD Format"

[MAKE USER VOICE]ボタンをクリックします。
ファイル保存用のダイアログボックスが表示されますので、保存先ドライブ(SDメモリーカードのドライブ)の指定とファイル名を設定します。ファイル名は自動的に月日(例"0901")+時間を表す1文字(0...9、A...N)+分秒4桁(例"3620")+ "-VOICE" + 拡張子(.tnw) (例:0901F3620-VOICE.tnw) がつけられます。必要に応じて変更してください。使用できるのは半角英数字(大文字)とハイフン(-)のみで最大16文字までです。



- 5** [EXIT]ボタンをクリックしてアプリケーションを終了します。
- 6** 手順4でファイルをセーブしたSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットにセットします。
- 7** 目的のユーザーメモリーにSDメモリーカード内のSamplingsファイルをロードします。詳しい手順は83ページ:『Load Samplings(ロードサンプリング)』をご覧ください。
これでユーザーボイスの設定が完了しました。
- 8** ユーザーボイスを使って演奏してみましょう。
内蔵のMIDI音源と同様に[L1]ボタンを押しながら目的のユーザーボイスの入ったLEDボタンを押すことで、ユーザーボイスを使うことができます。

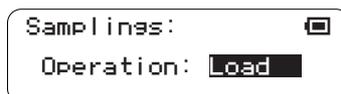


- ユーザーボイスでは、オクターブ、トランスポーズ、スケールの設定は無効となります。
- TENORI-ONの電源を切っても、ユーザーボイスはメモリーに残ります。
- ユーザーボイスを使用したソングを他のTENORI-ONで演奏する場合は、使用したユーザーボイスファイルをあらかじめロードしておいてください。(84ページ:『Save Samplings(セーブサンプリング)』、83ページ:『Load Samplings(ロードサンプリング)』)

●Load Samplings (ロードサンプリング)

SDメモリーカードに保存されているSampling ファイルを、TENORI-ONのユーザーボイスにロード(読み込み)します。

- 1 ロードしたいSampling ファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Samplings”



- 3 Operationに“Load”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。
ロード先ユーザーメモリーを指定する以下の画面が表示されます。ジョグダイヤルを回してユーザーメモリー1~3を指定し[OK]ボタンを押します。

- 表示される1、2、3はそれぞれ音色番号の<01/16>、<02/16>、<03/16>を示します。
最下段には現在そのメモリーに入っているSamplingファイル名が表示されます。メモリーが空の場合は“-----”が表示されます。



- 4 SDメモリーカード内のSamplingファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してロードしたいファイル名を反転表示させます。



- Samplingファイル形式(.tnw)以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。
ロード実行中は以下の画面が表示されます。
ロードをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- Samplingファイルのロードには時間がかかる場合があります。

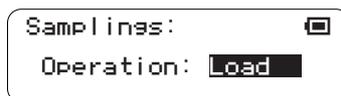
- 6 ロードが終了すると手順2の画面に戻ります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Save Samplings (セーブサンプリング)

TENORI-ONのユーザーボイスに現在登録されているサンプリングデータを、Samplingタイプのファイル(.tnw)でSDメモリーカードにセーブ(保存)します。

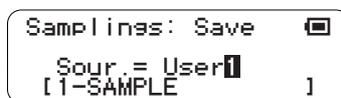
- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “Samplings”



- 3 Operationに“Save”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 セーブ対象のユーザーメモリーを指定する画面が表示されます。ジョグダイヤルを回してユーザーメモリー1～3を指定し[OK]ボタンを押します。
 - 表示される1、2、3はそれぞれ音色番号の<01/16>、<02/16>、<03/16>を示します。最下段には現在そのメモリーに入っているSamplingファイル名が表示されます。メモリーが空の場合は“-----”が表示されます。



- 5 セーブするファイル名の入力画面が表示されます。選択したユーザーメモリーに入っているファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。
設定方法は61ページのRename Song (リネームソング)と同様です。
 - 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。



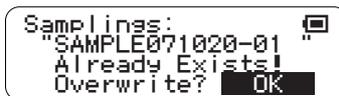
- 6 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“↵”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



- ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。
 - Samplingファイルのセーブには時間がかかる場合があります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。



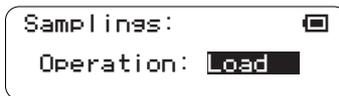
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで"CANCEL"表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

7 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Rename Samplings(リネームサンプリング)

SDメモリーカードに保存されているSamplingファイルの、ファイル名を変更(リネーム)します。

- 1 リネームしたいSamplingファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
"Main menu" → "File menu" → "Samplings"



- 3 Operationに"Rename"を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカード内のSamplingファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回してリネームしたいファイル名を反転表示させます。



- Samplingファイル形式(.tnw)以外のファイルは表示されません。

[OK]ボタンを押すと、ファイル名の入力画面が表示されます。現在選択中のSamplingファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。設定方法は61ページのRename Song(リネームソング)と同様です。

- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。

現在選択中のSamplingファイル名

入力位置カーソル

入力できる文字

ファイル名の確定

1文字消去
(入力位置カーソルも1文字戻る)

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

- 5 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
液晶ディスプレイに“Executing...”とリネーム処理中であることが表示されます。

 ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。



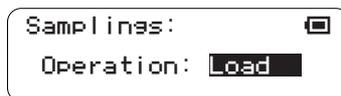
- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

●Delete Samplings(デリートサンプリング)

SDメモリーカードに保存されているSamplingファイルを削除(デリート)します。

- 1 削除したいSamplingファイルが入ったSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu”→“File menu”→“Samplings”



- 3 Operationに“Delete”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。

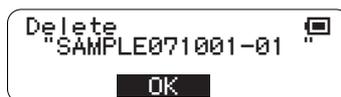


- 4 SDメモリーカード内のSamplingファイル名(拡張子なし)がリスト表示されるので、ジョグダイヤルを回して削除したいファイル名を反転表示させます。



- Samplingファイル形式(.tnw)以外のファイルは表示されません。

- 5 [OK]ボタンを押すと、削除の確認画面が表示されます。
表示されたファイル名を確認し、削除を実行する場合は[OK]ボタンを押します。
キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。



削除を実行([OK]ボタンを押す)した場合は、液晶ディスプレイに“Executing...”とデリート処理中であることが表示されます。

- ⊘ ファイルが破損する恐れがあるので、“Executing...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

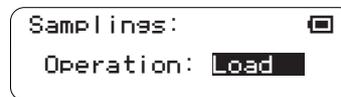
- 6 処理が完了すると、手順3の画面に戻ります。

ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ File menu (ファイルメニュー)

● Samplings Info(サンプリング インフォメーション)

TENORI-ONのユーザーボイスに現在登録されているサンプリングデータのファイル名を表示します。

- 1 ジョグダイヤルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。
“Main menu” → “File menu” → “Samplings”

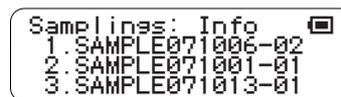


- 2 Operationに“Info”を反転表示させ、[OK]ボタンを押します。



- 3 TENORI-ONのユーザーメモリー1～3の Sampling ファイル名(拡張子なし)がリスト表示されます。

- 表示される1、2、3はそれぞれ音色番号の<01/16>、<02/16>、<03/16>を示します。
メモリーが空の場合は“-----”が表示されます。



- 4 [OK]または[CANCEL]ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。

■ Effect menu(エフェクトメニュー)

TENORI-ONの出力音に対して、リバーブとコーラスの2種のエフェクトをかけることができます。Effect menuのサブメニューは以下の4項目です。

1. Reverb Type(リバーブタイプ)	89ページ
2. Reverb Param(リバーブパラメーター)	89ページ
3. Chorus Type(コーラスタイプ)	90ページ
4. Chorus Param(コーラスパラメーター)	90ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. Reverb Type(リバーブタイプ)

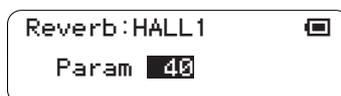


リバーブエフェクトのタイプを選択します。

- ・NO EFFECT..... リバーブエフェクトなし。
- ・HALL1、HALL2..... ホールで演奏しているようなリバーブ。
- ・ROOM1、ROOM2、ROOM3..... 室内で演奏しているようなリバーブ。
- ・STAGE1、STAGE2..... ステージで演奏しているようなリバーブ。
- ・PLATE1、PLATE2..... プレートリバーブ。

- 設定範囲..... NO EFFECT、HALL1、HALL2、ROOM1、ROOM2、ROOM3、STAGE1、STAGE2、PLATE1、PLATE2
- デフォルト..... HALL1
- LEDボタン..... 表示なし

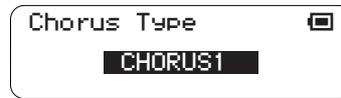
2. Reverb Param(リバーブパラメーター)



リバーブエフェクトの効果量を調整します。数値が大きくなるほど効果が深くなります。

- 設定範囲..... 0~127
- デフォルト..... 40
- LEDボタン..... 表示なし

3. Chorus Type(コーラスタイプ)

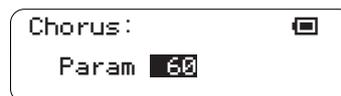


コーラスエフェクトのタイプを選択します。

- ・NO EFFECT..... コーラスエフェクトなし。
- ・CHORUS1、CHORUS2..... コーラス効果。
- ・FLANGR1、FLANGR2..... フランジャー効果。

- 設定範囲..... NO EFFECT、CHORUS1、CHORUS2、FLANGR1、FLANGR2
- デフォルト..... NO EFFECT
- LED ボタン..... 表示なし

4. Chorus Param(コーラスパラメーター)



コーラスエフェクトの効果量を調整します。数値が大きくなるほど効果が深くなります。

- 設定範囲..... 0~127
- デフォルト..... 0
- LED ボタン..... 表示なし

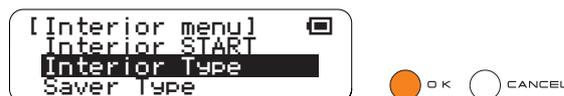
■ Interior menu(インテリアメニュー)

インテリアモードに設定すると、TENORI-ONを時計として使ったり、ソングを自動再生させたりすることができます。また、一定時間(時間設定は変更可)操作しなかった場合に動作を停止するパワーセーブモードに設定することもできます。Interior menuでは、これら2つの動作モードの機能設定を行ないます。

Interior menuのサブメニューは以下の10項目です。

1. Interior START(インテリアスタート)	91ページ
2. Interior Type(インテリアタイプ)	92ページ
3. Saver Type(セーバータイプ)	92ページ
4. Saver Time(セーバータイム)	92ページ
5. Time Signal ON/OFF(タイムシグナル オン/オフ)	93ページ
6. Alarm ON/OFF(アラーム オン/オフ)	93ページ
7. Set Alarm(セットアラーム)	93ページ
8. SaveAs Time Signal(セーブ アズ タイムシグナル)	94ページ
9. SaveAs Alarm(セーブ アズ アラーム)	94ページ
10. Clock Adjust(クロックアジャスト)	95ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. Interior START(インテリアスタート)

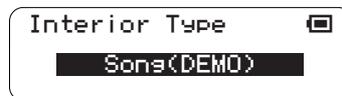


この画面が表示されている状態で[OK]ボタンを押すとインテリアモードに即座に移行し、次のInterior Typeで設定されている機能がスタートします。

- この画面で[OK]ボタンを押す(インテリアモードに移行)と、Saver Typeの設定は“Interior”に自動的に切り替わります。

- 設定範囲..... なし
- LED ボタン..... 表示なし

2. Interior Type(インテリアタイプ)



インテリアモードに移行した際の機能を選択します。

- ・Song(DEMO)..... TENORI-ONの内蔵デモソングを再生
- ・Song(SD) SDメモリーカード内のSongファイルをランダム再生
- ・Clock..... LEDボタン面に時刻を表示
- ・Clock+Song (DEMO) LEDボタン面に時刻を表示と共にTENORI-ONの内蔵デモソングを再生
- ・Clock+Song (SD)..... LEDボタン面に時刻を表示と共にSDメモリーカード内のSongファイルをランダム再生

- 設定範囲..... Song(DEMO)、Song(SD)、Clock、Clock+Song(DEMO)、Clock+Song(SD)
- デフォルト..... Song(DEMO)
- LEDボタン..... 表示なし

3. Saver Type(セーバータイプ)

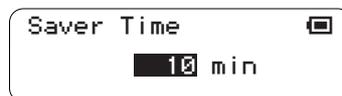


TENORI-ONを一定時間操作しなかった場合に移行する動作(セーバー動作)時のモードを選択します。

- ・Interior インテリアモード(上記Interior Typeで設定した時計機能およびソング再生機能)
- ・Power Save..... パワーセーブモード(シーケンサー停止&LEDボタン消灯)

- 設定範囲..... Interior、Power Save
- デフォルト..... Interior
- LEDボタン..... 表示なし

4. Saver Time(セーバータイム)

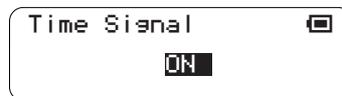


セーバー動作へ入るまでの時間を設定します。

ここで設定した時間、TENORI-ONを操作せずにおいた場合、Saver Typeで設定した動作に移行します。

- 設定範囲..... OFF、1～1440(min)
- デフォルト..... 10(min)
- LEDボタン..... 表示なし

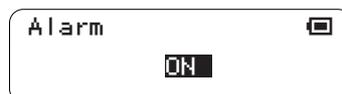
5. Time Signal ON/OFF(タイムシグナル オン/オフ)



インテリアモード動作時に、時報を鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。時報は毎時00分00秒に鳴ります。時報の再生時間は8秒間です。時報音は内蔵音の代わりにTENORI-ONで作成した演奏データに設定することもできます。(→94ページ:SaveAs Time Signal)

- 設定範囲..... ON,OFF
- デフォルト..... OFF
- LEDボタン..... 表示なし

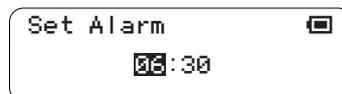
6. Alarm ON/OFF(アラーム オン/オフ)



インテリアモード動作時に、アラームを鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。アラームの再生時間は48秒間です。アラーム音は内蔵音の代わりにTENORI-ONで作成した演奏データに設定することもできます。(→94ページ:SaveAs Alarm)

- 設定範囲..... ON,OFF
- デフォルト..... OFF
- LEDボタン..... 表示なし

7. Set Alarm(セットアラーム)

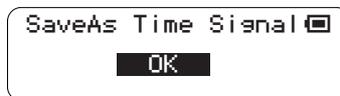


インテリアモード動作時にアラームを鳴らす時刻を設定します。

- 時報とアラームの再生時刻が重なった場合(アラームを00分に設定した場合は、アラームのみ再生されます。

- 設定範囲..... 00:00~23:59
- デフォルト..... 00:00
- LEDボタン..... 表示なし

8. SaveAs Time Signal(セーブ アズ タイムシグナル)



インテリアモード動作時に鳴らす時報音を、現在選択中のブロックの演奏データ(発音ポイント、設定情報)に設定します。

- この操作で時報音を変更すると、出荷時に設定されていた時報音は消えてしまいます。出荷時の時報音に戻す場合は、Factory Reset(ファクトリーリセット)を行なってください。

時報音に設定したいブロックを選択後、この画面で[OK]ボタンを押すことで、時報音に設定されます。

- キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押します。

[OK]ボタンを押すと、液晶ディスプレイに“Saving...”とデータ保存中であることが表示されます。

 **ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切らないでください。**

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... 表示なし

9. SaveAs Alarm(セーブ アズ アラーム)



インテリアモード動作時に鳴らすアラーム音を、現在選択中のブロックの演奏データ(発音ポイント、設定情報)に設定します。

- この操作でアラーム音を変更すると、出荷時に設定されていたアラーム音は消えてしまいます。出荷時のアラーム音に戻す場合は、Factory Reset(ファクトリーリセット)を行なってください。

アラーム音に設定したいブロックを選択後、この画面で[OK]ボタンを押すことで、アラーム音に設定されます。

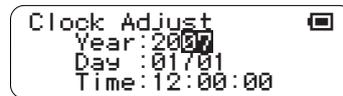
- キャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押します。

[OK]ボタンを押すと、液晶ディスプレイに“Saving...”とデータ保存中であることが表示されます。

 **ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切らないでください。**

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... 表示なし

10. Clock Adjust(クロックアジャスト)



時計(クロック)の年・月・日・時刻を設定します。

ジョグダイヤルで設定後[OK]ボタンを押すと、次の項目に反転位置(設定項目)が移動します。

最後の項目(分)を設定後[OK]ボタンを押すと、時刻が確定されます。

- 設定範囲..... 年(Year):2000~2099、
月日(Day):01~12/01~31、
時分(Time):00~23/00~59
*秒(00)は変更不可
- デフォルト..... OK
- LEDボタン..... 表示なし

■ System menu(システムメニュー)

ファクトリーリセット、SDメモリーカードのフォーマットなど、TENORI-ONのシステムに関する設定を行ないます。

System menuのサブメニューは以下の5項目です。

1. SaveAs Default(セーブ アズ デフォルト)	96ページ
2. SD Format(SDフォーマット)	97ページ
3. Owner Name(オーナーネーム)	97ページ
4. Version Check(バージョンチェック)	98ページ
5. Factory Reset(ファクトリーリセット)	98ページ

ジョグダイヤルで目的のサブメニューを反転表示させ、[OK]ボタンを押して目的の設定画面を表示させます。



1. SaveAs Default (セーブ アズ デフォルト)



現在の全ブロック/全レイヤーの設定状態を、起動時の初期設定としてTENORI-ON本体に登録します。この登録を行なわない場合は、工場出荷時の初期設定で起動します。

この画面で[OK]ボタンを押すことで、現在の状態が初期値に登録されます。

[OK]ボタンを押すと、液晶ディスプレイに“Saving...”とデータ登録中であることが表示されます。

⊘ 内部データが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切らないでください。

- キャンセルする場合は [CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後 [OK]ボタンを押します。

■設定範囲..... OK、CANCEL

■デフォルト..... OK

■LEDボタン..... 表示なし

2. SD Format (SDフォーマット)

❗ SDメモリーカードをご使用前に、「SDメモリーカードの取り扱いについて (59ページ)」をお読みください。



SDメモリーカードをTENORI-ON用にフォーマットします。

- 32MB以上の容量のカードはFAT32で、32MB未満の容量のカードはFAT16でフォーマットされます。

カードスロットにSDメモリーカードを挿入したあと、この画面で [OK] ボタンを押すことでフォーマットが実行されます。

[OK] ボタンを押すと、液晶ディスプレイに “Formatting...” とフォーマット実行中であることが表示されます。

❗ SDフォーマットを実行すると、SDメモリーカード内のすべてのデータは消去されます。十分確認したうえでフォーマットを実行してください。

⊘ “Formatting...” 表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

- キャンセルする場合は [CANCEL] ボタンを押すか、ジョグダイヤルで “CANCEL” 表示後 [OK] ボタンを押します。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LED ボタン..... 表示なし

3. Owner Name (オーナーネーム)



TENORI-ON本体メモリーに所有者の名前 (オーナーネーム) を記憶させることができます。

ここで設定したオーナーネームは、Song ファイル保存時に作曲者名としてソングファイル情報に書き込まれ、Song ファイル再生時に画面表示されます。

1 工場出荷時にはオーナーネーム入力欄に “NO NAME” と表示されています。これを修正して新しいオーナーネームを設定します。

設定方法は61ページのRename Song (リネームソング) と同様です。

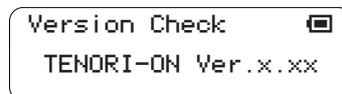
- 設定できるオーナーネームは16文字以内です。



2 オーナーネームを付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される “↵” を選び (反転表示)、[OK] ボタンを押します。

3 オーナーネームが確定され、サブメニューの選択画面に戻ります。

4. Version Check(バージョンチェック)



TENORI-ONの内蔵ROMのバージョンを表示します。

5. Factory Reset(ファクトリーリセット)



TENORI-ONの全設定を工場出荷時の状態にリセットします。全ブロック、全レイヤーの設定を工場出荷時の状態に戻し、発音ポイントをすべてクリアします。登録した各種設定(アラーム音、時報音、オーナーネームなど)もすべて初期値に戻り、SaveAs Default(→96ページ)の設定も工場出荷時の初期値に戻されます。ただし、ロードしたサンプリングファイルだけは初期化されません。

この画面で[OK]ボタンを押すことで、ファクトリーリセットが実行されます。

- キャンセルする場合は [CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後 [OK]ボタンを押します。

- 設定範囲..... OK、CANCEL
- デフォルト..... OK
- LEDボタン..... 表示なし

■ Recording menu(レコーディングメニュー)

TENORI-ONの演奏をリアルタイムレコーディングするメニューです。

! SDメモリーカードをご使用の前に、「SDメモリーカードの取り扱いについて (59ページ)」をお読みください。

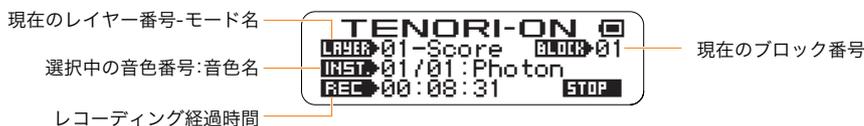
- 1 空きメモリーが十分あるフォーマット済みのSDメモリーカードを、TENORI-ONのカードスロットに挿入します。
- 2 ジョグダイヤルを動かし、Main menu画面でRecording menuを選択したあと、[OK]ボタンを押してRecording menuの最初の画面を表示させます。



- 3 上記画面が表示された状態で[OK]ボタンを押すとレコーディングが開始されます。

- ソングレコーディング時にはハードウェアボリューム(40ページ)ではなく、マスターボリューム(31ページ)の設定が保存されます。
- レコーディングをキャンセルする場合は、[CANCEL]ボタンを押します。

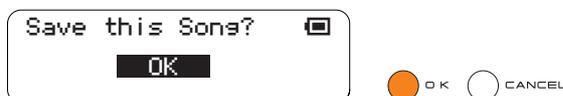
[OK]ボタンを押した時点からレコーディングが開始され、全レイヤー、全ブロックの演奏情報(発音ポイントの位置情報)およびファンクションボタン、[CLEAR]ボタンの操作による設定情報(音色、テンポなど)が時間経過に伴いすべて記録されます。LEDボタン、ファンクションボタン、[CLEAR]ボタンの操作も記録されます。レコーディングできる最大のデータサイズは39KBです。これは、ボタンやダイヤルの操作にして約1,000の操作数となります。操作が1,000に達すると自動的に録音が停止し、それ以上の演奏ができなくなります。LCDにはレコーディングしたソングをSongファイルとして保存するための画面が表示されますので、[OK]ボタンを押してそれまでの演奏を保存します。レコーディング中は以下の画面表示になり、現在のレイヤーの設定状態やレコーディング経過時間が確認できます。



- 4 レコーディングを終了するには[OK]ボタンを押します。

レコーディングしたソングをSongファイルとして保存するための以下の画面が表示されます。[OK]ボタンを押して保存(セーブ)操作に入ります。

- 保存しない場合は[CANCEL]ボタンを押すか、ジョグダイヤルで"CANCEL"表示後[OK]ボタンを押します。



- 5 保存(セーブ)するSongファイル名の入力画面が表示されます。仮のファイル名が表示されているので、これを修正して目的のファイル名にします。

設定方法は61ページのRename Song(リネームソング)と同様です。

- 設定できるファイル名は16文字以内、拡張子は自動的に付けられます。

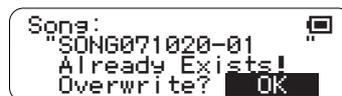


ジョグダイヤルによるパラメーター設定 ■ Recording menu (レコーディングメニュー)

- 6 ファイル名を付け終わったら、ジョグダイヤルを回して液晶ディスプレイ4行目右端に表示される“”を選び(反転表示)、[OK]ボタンを押します。
ファイル名が確定され、セーブが実行されます。
セーブ実行中は以下の画面が表示されます。
セーブをキャンセルする場合は、[OK]または[CANCEL]ボタンを押します。



-  ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。
- SDメモリーカード内に同名ファイルが存在する場合は、セーブ実行前に上書きの確認メッセージが表示されます。



- 上書きしてもよい場合は[OK]ボタンを押します。上書きをキャンセルする場合は[CANCEL]ボタンを押します(ジョグダイヤルで“CANCEL”表示後[OK]ボタンを押しても同様です)。

- 7 処理が完了すると、手順2の画面に戻ります。
ソングを再生するには、ソングのロード(60ページ)を行なってください。

- レコーディングしたソングは後からエディットすることはできません。現在のレイヤーやブロックの状態を、あとでエディットできるように保存するにはFile MenuからAll Blocks(すべてのブロック)、Current Block(選択中のブロックのみ)、Current Layer(選択中のレイヤーのみ)のいずれかを選び、セーブしてください。

資料

ディスプレイメッセージ一覧

表示	意味
Power Save...	パワーセーブモード実行中です。
Mode different. Can't Copy!	CopythisLayer画面(→53ページ)で、演奏モードの異なるレイヤーにコピーをしようとした際に表示されます。演奏モードの異なるレイヤーにはコピーできません。
UNDO?	Edit menuでコピー/クリア/リセット操作を行なったあとに表示されます。表示中に[OK]ボタンを押すと、コピー/クリア/リセット操作の前の状態に戻ります。[CANCEL]ボタンなど、[OK]以外のボタンを押すか、タイムアウトの15秒が経過すると、元に戻れなくなります。
Loading...	ファイルのロード中です。 電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
Saving...	ファイルのセーブ中、もしくはフラッシュROMへデータ書き込み中です。 電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
Executing...	ファイルのリネーム/デリート中です。 電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
Formatting...	SDメモリーカードのフォーマット中です。
SD Card Error! No SD Card.	カードスロットにSDメモリーカードが挿入されていません。
Unformatted.	未フォーマットのSDメモリーカードです。
SD Card Error! Card is Locked.	SDメモリーカードが書き込み禁止(プロテクトON)になっています。
SD Card Error! Access Timeout.	セーブまたはロード中に、何らかの理由でタイムアウトが発生しました。
SD Card Error! Illesal Media.	サポートされていないメディアがカードスロットに挿入されています。
SD Card Error! Card is Full.	SDメモリーカードの書き込み可能な領域がなくなりました。
SD Card Error! Card is not Ready.	SDメモリーカードの読み込み/書き込み準備ができていません。
SD Card Error! Illesal File Name.	ロード対象ファイルのファイル名が不正です。
SD Card Error! Illesal Format.	サポートされていないフォーマットのカードがカードスロットに挿入されています。
SD Card Error! Not Supported File.	サポートされていない形式のファイルです。
SD CardError! The File is Broken.	ファイルが壊れています。
SD Card Error! Can not Open File.	何らかの理由でファイルを開くことができませんでした。
SD Card Error! Can not Write File.	何らかの理由でファイルを書き込むことができませんでした。
SD Card Error! Can not Read File.	何らかの理由でファイルを読み込むことができませんでした。
SD Card Error! Unexpected Error.	予期せぬエラーが発生しました。
SD Card Error! Mode is different.	ロード元のTENORI-ONとレイヤーの演奏モードが異なります。
Alarm Playing...	インテリアモードでアラーム再生中です。
Time Signal...	時報再生中です。

ディスプレイメッセージ一覧

表示	意味
Clear Layer Block[**] Layer(**)	現在選択中のレイヤー/ブロックの発音ポイントが消去されました。
Clear All	全ブロック/全レイヤーの発音ポイントが消去されました。
Song Already Exists! Overwrite?	同じ名前のソングファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。
Blocks Already Exists! Overwrite?	同じ名前のオールブロックファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。
Block[**] Already Exists! Overwrite?	同じ名前のブロックファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。
Layer[**] Already Exists! Overwrite?	同じ名前のレイヤーファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。
Settings Already Exists! Overwrite?	同じ名前のセッティングファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。
Samplings Already Exists! Overwrite?	同じ名前のサンプリングファイルがすでに存在するときに表示されます。 [OK] ボタンを押すと、ファイル名が確定され、新しい内容で上書きされます。 上書きしたくないときは [CANCEL] ボタンを押します。

困ったときは

現象	原因と対処	参照ページ
楽器全般		
時々ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をオン/オフしたり、電気ドリルなどを使用している場合は、雑音が入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントを使ってください。また、原因不明の場合は、サービスセンターまでご相談ください。	-
携帯電話や、ラジオ、テレビ、無線などの電波が入る。	近くで携帯電話を使用していたり、近くに放送局やアマチュア無線局があるためです。どうしても気になる場合は、サービスセンターまでご相談ください。	-
ラジオやテレビなどに雑音が入る。	この楽器のすぐ近くにラジオやテレビを置くと、雑音が入ることがあります。できるかぎり離してご使用ください。	-
ボタンを長押ししても反応しない。	長押し判定時間の値が大きすぎます。値を小さくしてください。	56ページ
音が鳴らない		
音が鳴らない。	ローカルコントロールがオフになっています。オンにしてください。	57ページ
	ボリュームが最小近くになっています。音量を上げてください。	31、40ページ
	ヘッドフォンや外部スピーカーが接続されています。	-
	ミュートがオンになっています。オフにしてください。	44ページ
	Preference menuでSlave Modeに設定されているのに、MasterのTENORI-ONとMIDIで接続されていません。あるいは、接続が正しくありません。	7、8ページ
	Sound Lengthが長すぎます。TENORI-ONの音源はステレオ音源(1つの音の発音に2音分の領域を使用)のため、Sound Lengthが長すぎると最大同時発音数の制限を越えて、ノートが正しく発音されない場合があります。	-
音が途切れる。	全体の発音数が、最大同時発音数32を超えています。	-
	Pushモードを除くすべてのモードでは、同一レイヤー内で、既に発音中の音と同じ高さの音を発音する場合、前の音をオフしてから、次の音の発音が開始されるためです。	-
音の高さと音色		
縦軸/横軸に割り当てられた音階がおかしい。	スケールがイオニアン以外に設定されています。イオニアンに設定してください。	41ページ
移動先のブロックでレイヤーの音色を変えると、元のブロックの同一レイヤーの音色も変わってしまう。	全ブロックをとおして、同一レイヤーの音色は共通なためです。	6ページ
データの保存と初期化		
設定した値が次回起動時に反映されない。	電源を切る前にSaveAs Defaultで設定を保存してください。	96ページ
Reset All Blocksを行っても、初期化されないパラメーターがある。	一部パラメーターは、SaveAs Defaultで保存した値で起動するためです。	36ページ

困ったときは

現象	原因と対処	参照ページ
SDメモリーカード		
レコーディング/再生できない。	SDメモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 ライトプロテクトを外してください。	59ページ
	演奏データの容量が大きすぎます。 容量が39KB(約1000操作)を超える演奏はレコーディングできません。	-
	SDメモリーカードの空き容量が不足しています。 別のSDメモリーカードを使用してください。	-
ファイル操作できない。	セーブおよびリネームでは、最初の5文字までが同一のファイルは最大で100個までしか扱えません。	-
	SDメモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 ライトプロテクトを外してください。	59ページ
	SDメモリーカードの空き容量が不足しています。 別のSDメモリーカードを使用してください。	-
	ファイル数の上限を超えています。TENORI-ONフォルダ内は最大で1000個まで、また各拡張子ごとに最大で256個までしか扱えません。	-
オールブロック、カレントブロック、カレントレイヤーをロードしても、ロードしたファイルが自動的に再生されない。	自動演奏を一時停止中にロードすると、ロードしたファイルは自動的に再生されません。ステータス画面に戻って [OK] ボタンを押すと再生が始まります。	
その他		
ループインジケータが動かない。	[OK] ボタンを押して一時停止状態になったためです。 もう一度 [OK] ボタンを押してください。	-
ループポイント、ループスピードの値が設定した値と異なる。	プレイメニューのマスターループポイント、マスターループスピードの値を変更すると、その値に書き換えられるためです。	-

MIDIデータフォーマット

TENORI-ON MIDI送受信イベント仕様

1. 送受信可能なシステムメッセージ

TENORI-ONは、操作に応じてMIDIのメッセージを送信します。また、MIDIのメッセージを受信して、TENORI-ONの音源を鳴らすことができます。以下は、TENORI-ONが送受信可能なシステムメッセージの一覧です。

その他のメッセージに関しては、MIDIインプリメンテーションチャートを参照してください。

TENORI-ONで送信/受信可能なシステムメッセージ

タイプ	詳細	送信	受信
System Realtime	タイミングクロック(F8)	○*1	○*2
	スタート(FA)	○*1	○*2
	コンティニュー(FB)	×	○*2
	ストップ(FC)	○*1	○*2
	アクティブセンシング(FE)	○*1	○*3
System Exclusive	Master Volume(F0 7F 7F 04 01 00 dd F7)	○	○*3
	Master Volume(F0 43 10 4C 00 00 04 dd F7)	×	○*3
	Master Tune(F0 43 10 27 30 00 00 dd dd 00 F7)	○	○*3
	Master Tune(F0 43 10 4C 00 00 00 dd dd dd F7)	×	○*3
	Reverb Type(F0 43 10 4C 02 01 00 dd dd F7)	○	○*3
	Chorus Type(F0 43 10 4C 02 01 20 dd dd F7)	○	○*3
	TENORI-ON 専用(F0 43 73 01 33 00 dd dd dd F7)	○	×

*1: Master Mode時のみ送信 *2: Slave Mode時のみ受信 *3: Master Mode時のみ受信

System Realtime Message FEとF8はシーケンサーの再生/停止に関わらず起動後に常時送信される(マスターモード時)

2. TENORI-ON専用System Exclusive Message

TENORI-ON上でのボタン操作やダイヤル操作を専用のSystem Exclusiveメッセージを使って出力します。以下はそのフォーマットです。

11110000	F0	Exclusive Status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Device ID
00000001	01	Model ID
00110011	33	Sub ID 1
00000000	00	Sub ID 2
0ddddd	dd	Data1
0ddddd	dd	Data2
0ddddd	dd	Data3
11110111	F7	End of Exclusive

Data1

B7	B6	B5	B4	B3	B2	B1	B0
0	0	0	TYPE1	TYPE0	0	STAT1	STAT0

TYPE[1: 0]

操作された操作子の種類

TYPE1	TYPE0	操作子
0	0	フレームボタン
0	1	パネルボタン
1	0	ダイヤル

MIDI データフォーマット TENORI-ON MIDI 送受信イベント仕様

STAT[1: 0]

操作された操作子の状態

STAT1	STAT0	状態
0	0	ボタンオフ or ダイアルダウン
0	1	ボタンオン or ダイアルアップ
1	1	ダイアルストップ

Data2

B7	B6	B5	B4	B3	B2	B1	B0
0	0	0	X4	X3	X2	X1	X0

X[4 : 0]

TYPE[1 : 0] が 00 (フレームボタン)の場合:

フレームボタンの種類

X4	X3	X2	X1	X0	ボタン
0	0	0	0	0	Cansel
0	0	0	0	1	OK
0	0	0	1	0	Clear
0	1	0	0	0	R1
0	1	0	0	1	R2
0	1	0	1	0	R3
0	1	0	1	1	R4
0	1	1	0	0	R5
1	0	0	0	0	L1
1	0	0	0	1	L2
1	0	0	1	0	L3
1	0	0	1	1	L4
1	0	1	0	0	L5

TYPE[1 : 0] が 01 (パネルボタン)の場合:

パネルボタン 水平座標(左端から 0, 1, 2, ..., 15)

X4	X3	X2	X1	X0
0	パネルボタンの水平座標(0-15)			

TYPE[1 : 0] が 10 (ダイアル)の場合:

ダイアルの移動量 (0 -15)

X4	X3	X2	X1	X0
0	ダイアルの移動量 (0-15)			

Data3

B7	B6	B5	B4	B3	B2	B1	B0
0	0	0	0	Y3	Y2	Y1	Y0

Y[3 : 0]

TYPE[1 : 0] が 01 (パネルボタン)の場合:

パネルボタン 垂直座標(上端から 0, 1, 2, ..., 15)

Y3	Y2	Y1	Y0
パネルボタンの垂直座標 (0-15)			

TYPE[1 : 0] が 00 (フレームボタン)の場合、および10(ダイアル)の場合:

すべて0

Y3	Y2	Y1	Y0
0	0	0	0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 - 16 X	1 - 16 X	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 X *****	3 X X	
ノートナンバー	音域	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	O 9nH, v=100 X	O 9nH, v=1-127 X	
アフタータッチ:	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチベンド		X	X	
コントロールチェンジ	0, 32 7 10 11 91, 93	O O O O O	O O O O O	バンクセレクト メインボリューム パンポット エクスプレッション エフェクトデプス
プログラムチェンジ: 設定可能範囲		O 0 - 127 *****	O 0 - 127	
システムエクスクルーシブ		O	O	
コモン:	ソングポジション ソングセレクト チューン	X X X	X X X	
システム: リアルタイム:	クロック コマンド	O O	O*1 O*1	
Aux メッセージ	: オールサウンドオフ : リセットオールコントロール : ローカルオン/オフ : オールノートオフ : アクティブセンス : リセット	X X X X O X	X (120, 126, 127) X (121) X X (123-125) O X	
備考: *1=スレープモード時のみ有効				

音色リスト

音色リスト

プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのプログラムナンバーから1引いた数で指定します。

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/ Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 1	63	1	1	01/01	Photon
	63	1	2	01/02	Photopia
	63	1	3	01/03	Pearl
	63	1	4	01/04	Pulse
	63	1	5	01/05	Cell
	63	1	6	01/06	Pixel
	63	1	7	01/07	Serene
	63	1	8	01/08	Electron
	63	1	9	01/09	Winter
	63	1	10	01/10	SoftMmb
	63	1	11	01/11	SoftAcco
	63	1	12	01/12	SoftHarm
	63	1	13	01/13	GrandPno
	63	1	14	01/14	QuietPno
	63	1	15	01/15	OldPiano
	63	0	1	01/16	User1
Layer 2	63	1	16	02/01	eKalimba
	63	1	17	02/02	LiteOrg
	63	1	18	02/03	GlassTap
	63	1	19	02/04	Drop
	63	1	20	02/05	Shimmery
	63	1	21	02/06	Mist
	63	1	22	02/07	Acorn
	63	1	23	02/08	Chime
	63	1	24	02/09	ThumbPno
	63	1	25	02/10	ToyTrain
	63	1	26	02/11	ToyBanjo
	63	1	27	02/12	LazyBass
	63	1	28	02/13	Crocus
	63	1	29	02/14	CandyCan
63	1	30	02/15	Peaceful	
63	0	2	02/16	User2	
Layer 3	63	1	31	03/01	OrgFlute
	63	1	32	03/02	GtrHarmo
	63	1	33	03/03	GreenFlt
	63	1	34	03/04	Lonely
	63	1	35	03/05	Murmur
	63	1	36	03/06	OrganLT
	63	1	37	03/07	TinyWind
	63	1	38	03/08	FagottLo
	63	1	39	03/09	Hopper
	63	1	40	03/10	PopEcho
	63	1	41	03/11	PopStr
	63	1	42	03/12	Maple
	63	1	43	03/13	ToyRobot
	63	1	44	03/14	Tropical
	63	1	45	03/15	Floating
	63	0	3	03/16	User3

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/ Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 4	63	1	46	04/01	NMCanon
	63	1	47	04/02	LeedPlus
	63	1	48	04/03	DotGame
	63	1	49	04/04	HardBeep
	63	1	50	04/05	PopFlang
	63	1	51	04/06	PeekTone
	63	1	52	04/07	RetroPop
	63	1	53	04/08	SonarPad
	63	1	54	04/09	CaveDrop
	63	1	55	04/10	DullBeep
	63	1	56	04/11	SnapStr
	63	1	57	04/12	MellowB
	63	1	58	04/13	BasicB
	63	1	59	04/14	PowerB
	63	1	60	04/15	MetalB
	63	1	61	04/16	SlowB
Layer 5	63	1	62	05/01	EchoBass
	63	1	63	05/02	PizzStr
	63	1	64	05/03	SinePop
	63	1	65	05/04	PowerPop
	63	1	66	05/05	Blip
	63	1	67	05/06	WindPass
	63	1	68	05/07	DonPiyo
	63	1	69	05/08	MetalHit
	63	1	70	05/09	BuzzPop
	63	1	71	05/10	FlowOut
	63	1	72	05/11	Spring
	63	1	73	05/12	BubIEcho
	63	1	74	05/13	Pico
	63	1	75	05/14	LightPop
	63	1	76	05/15	RainDrop
	63	1	77	05/16	Creak
Layer 6	63	1	78	06/01	TreeFrog
	63	1	79	06/02	Squeeze
	63	1	80	06/03	FootStep
	63	1	81	06/04	Carib
	63	1	82	06/05	Point
	63	1	83	06/06	EchoTom
	63	1	84	06/07	PureTom
	63	1	85	06/08	TinBox
	63	1	86	06/09	Boom
	63	1	87	06/10	LowBoom
	63	1	88	06/11	EchoBoom
	63	1	89	06/12	SoftBoom
	63	1	90	06/13	LargeBox
	63	1	91	06/14	Barrel
	63	1	92	06/15	AirSynth
	63	1	93	06/16	SteelDrum

音色リスト

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 7	63	1	94	07/01	HighKit
	63	1	95	07/02	BumpKit
	63	1	96	07/03	StompKit
	63	1	97	07/04	BangKit
	63	1	98	07/05	ScrubKit
	63	1	99	07/06	HandKit
	63	1	100	07/07	MouthKit
	63	1	101	07/08	EastKit
	63	1	102	07/09	EastKit2
	63	1	103	07/10	EchoKit
	63	1	104	07/11	PowerKit
	63	1	105	07/12	SnapKit
	63	1	106	07/13	LowKit
	63	1	107	07/14	MidKit
	63	1	108	07/15	Knocks
	63	1	109	07/16	Stomp
Layer 8	63	1	110	08/01	Square
	63	1	111	08/02	Aroma
	63	1	112	08/03	Sprout
	63	1	113	08/04	Spot
	63	1	114	08/05	Quasar
	63	1	115	08/06	BeanBag
	63	1	116	08/07	TipToe
	63	1	117	08/08	Gemini
	63	1	118	08/09	Apollo
	63	1	119	08/10	Hexagon
	63	1	120	08/11	Green
	63	1	121	08/12	DoLoop
	63	1	122	08/13	Milli
	63	1	123	08/14	Centi
	63	1	124	08/15	Deca
	63	1	125	08/16	Hect
Layer 9	63	2	1	09/01	Peanuts
	63	2	2	09/02	Walnut
	63	2	3	09/03	Ping
	63	2	4	09/04	Pong
	63	2	5	09/05	Mallet
	63	2	6	09/06	HumOrgan
	63	2	7	09/07	BuzOrgan
	63	2	8	09/08	PopOrgan
	63	2	9	09/09	JazOrgan
	63	2	10	09/10	ResOrgan
	63	2	11	09/11	FuzOrgan
	63	2	12	09/12	PufOrgan
	63	2	13	09/13	PicOrgan
	63	2	14	09/14	DropEcho
	63	2	15	09/15	Sesame
	63	2	16	09/16	Delta

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 10	63	2	17	10/01	Marble
	63	2	18	10/02	PinBall
	63	2	19	10/03	TinToy
	63	2	20	10/04	Chick
	63	2	21	10/05	Vibes
	63	2	22	10/06	SineMmb
	63	2	23	10/07	Harp
	63	2	24	10/08	Opinion
	63	2	25	10/09	Stuffy
	63	2	26	10/10	Sulky
	63	2	27	10/11	Log
	63	2	28	10/12	Oscillat
	63	2	29	10/13	Grief
	63	2	30	10/14	Bubble
	63	2	31	10/15	Plankton
	63	2	32	10/16	Popcorn
Layer 11	63	2	33	11/01	Acordion
	63	2	34	11/02	Viola
	63	2	35	11/03	Cello
	63	2	36	11/04	Violin
	63	2	37	11/05	Contrabs
	63	2	38	11/06	SfotStr
	63	2	39	11/07	Strings
	63	2	40	11/08	Piccolo
	63	2	41	11/09	Flute
	63	2	42	11/10	Recorder
	63	2	43	11/11	PanFlute
	63	2	44	11/12	Bagpipe
	63	2	45	11/13	FagottHi
	63	2	46	11/14	Oboe
	63	2	47	11/15	Harmnica
	63	2	48	11/16	El.Grand
Layer 12	63	2	49	12/01	LadyBird
	63	2	50	12/02	Tsugumi
	63	2	51	12/03	WhiteEye
	63	2	52	12/04	NewHope
	63	2	53	12/05	Trickle
	63	2	54	12/06	MayFly
	63	2	55	12/07	Moth
	63	2	56	12/08	GlasPerc
	63	2	57	12/09	SineLead
	63	2	58	12/10	Flick
	63	2	59	12/11	Doze
	63	2	60	12/12	Sleep
	63	2	61	12/13	ElecToy
	63	2	62	12/14	Frog
	63	2	63	12/15	RadioPno
	63	2	64	12/16	Droid

音色リスト

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 13	63	2	65	13/01	Children
	63	2	66	13/02	Aqua
	63	2	67	13/03	Pierrot
	63	2	68	13/04	Musicbox
	63	2	69	13/05	Fairy
	63	2	70	13/06	Ukulet
	63	2	71	13/07	Molecule
	63	2	72	13/08	Sparkler
	63	2	73	13/09	AirTweet
	63	2	74	13/10	Neutrino
	63	2	75	13/11	CosmoRay
	63	2	76	13/12	Elf
	63	2	77	13/13	Elfin
	63	2	78	13/14	ChitChat
	63	2	79	13/15	RayDrop
	63	2	80	13/16	Ozone
Layer 14	63	2	81	14/01	Chrome
	63	2	82	14/02	Oak
	63	2	83	14/03	Awake
	63	2	84	14/04	Ebony
	63	2	85	14/05	Epoxy
	63	2	86	14/06	Pendulum
	63	2	87	14/07	Xylophon
	63	2	88	14/08	Marimba
	63	2	89	14/09	MetalXY
	63	2	90	14/10	SoftFoot
	63	2	91	14/11	PopUP
	63	2	92	14/12	Helium
	63	2	93	14/13	Locust
	63	2	94	14/14	TinyBell
	63	2	95	14/15	PopVibes
	63	2	96	14/16	Balimba
Layer 15	63	2	97	15/01	Candera
	63	2	98	15/02	Orbit
	63	2	99	15/03	Helix
	63	2	100	15/04	Fade
	63	2	101	15/05	Appear
	63	2	102	15/06	SlowRay
	63	2	103	15/07	PhaseOrg
	63	2	104	15/08	Sunspot
	63	2	105	15/09	Whistle
	63	2	106	15/10	Corona
	63	2	107	15/11	Diode
	63	2	108	15/12	Zone
	63	2	109	15/13	Venus
	63	2	110	15/14	Mercury
	63	2	111	15/15	Polar
	63	2	112	15/16	Pai

Category	Voice #			Displayed Voice Number (Vertical/Horizontal)	Voice Name
	MSB #	LSB #	Prog #		
Layer 16	63	2	113	16/01	SlowFlux
	63	2	114	16/02	AirFlow
	63	2	115	16/03	Dynamo
	63	2	116	16/04	Field
	63	2	117	16/05	Closed
	63	2	118	16/06	Parallel
	63	2	119	16/07	Proton
	63	2	120	16/08	Radiator
	63	2	121	16/09	Neutron
	63	2	122	16/10	Particle
	63	2	123	16/11	Aerial
	63	2	124	16/12	Ion
	63	2	125	16/13	Glow
	63	2	126	16/14	Spiral
	63	2	127	16/15	Oxygen
	63	2	128	16/16	Velocity

索引

- A**
 Alarm ON/OFF 93
 All Blocks 64
 All Settings 76
 Animation 50
- B**
 Bounce モード 17
- C**
 CANCEL 35
 Chorus Param 90
 Chorus Type 90
 CLEAR 12
 Clear All Blocks 54
 Clear this Block 52
 Clear this Layer 54
 Clock Adjust 95
 Copy this Block 52
 Copy this Layer 53
 Current Block 68
 Current Layer 72
- D**
 Draw モード 16
- E**
 Edit Menu 51
 Effect Menu 89
- F**
 Factory Reset 98
 File Menu 58
- H**
 Hardware Volume 40
- I**
 Instrument 22、46
 Interior Menu 91
 Interior Start 91
 Interior Type 92
- L**
 [L1] 22
 [L2] 23
 [L3] 24
 [L4] 25、26
 [L5] 27
 Layer Menu 45
 Local Control 57
 Loop Indicator 57
 Loop Point 25
 Loop Speed 27、48
- M**
 Master Loop Point 43
 Master Loop Speed 42
 Master Scale 41
 Master Tempo 29、40
 Master Transpose 30、42
 Master Tuning 56
 MIDI 7、105、107
 Mute 44
- O**
 Octave 24
 OK 34
 Owner Name 97
- P**
 Panpot 50
 Play Menu 39
 Preference Menu 55
 Push Sensitivity 56
 Push モード 18
- Q**
 Quantize 56
- R**
 [R1] 28
 [R2] 29
 [R3] 30
 [R4] 31
 [R5] 32
 Random モード 15、26
 Recording Menu 99
 Reset All Blocks 54
 Reset Loop Timing 43
 Reverb Param 89
 Reverb Type 89
 Rotation 26
- S**
 Samplings 80
 Save All Blocks 65
 SaveAs Alarm 94
 SaveAs Default 96
 SaveAs Time Signal 94
 Saver Time 92
 Saver Type 92
 Score モード 14、25
 SD Format 97
 SDメモリーカード 9、59
 Set Alarm 93
 Solo モード 19
 Song 60
 Sound Length 23、49
 Synchronize 57
 System Menu 96
- T**
 Time Signal ON/OFF 93
- U**
 Undo 51
- V**
 Version Check 98
- あ**
 アニメーション 50
 アラーム オン/オフ 93
- い**
 インテリア 10、91
- え**
 演奏モード 4、11
- お**
 音色 6、108
- か**
 画面 11
- き**
 キャンセル 35
- く**
 クリア 12
- こ**
 コピー (ブロック) 52
 コピー (レイヤー) 32、53
- さ**
 サンプリング 80
- し**
 初期化 36
 ジョグダイヤル 33
- す**
 ステータス画面 11、33
- せ**
 セーブ (オールセッティング) 77
 セーブ (オールブロック) 65
 セーブ (カレントブロック) 69
 セーブ (カレントレイヤー) 73
 セーブ (サンプリング) 84
 接続 7

そ	
ソング	60
ソング (レコーディング)	99
て	
停止	12
デモソング	92
と	
時計	95
は	
発音ポイント	14
バックアップ	36
パラメーター	20、36、37、38
ふ	
ファンクションボタン	21
ブロック	5、32
ほ	
保存	36
ボリューム (ハードウェア)	40
ボリューム (マスター)	31
ボリューム (レイヤー)	31、47
め	
メインメニュー	33
ゆ	
ユーザーボイス	22
ユーザーボイスの作り方	80
る	
ループインジケーター	14
れ	
レイヤー	4、5、28
レコーディング (録音)	99
ろ	
ロード (オールセッティング)	76
ロード (オールブロック)	64
ロード (カレントブロック)	68
ロード (カレントレイヤー)	72
ロード (サンプリング)	83



TENORI-ONのホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/tenori-on/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division
© 2007 Yamaha Corporation
701MW0.0-00A0